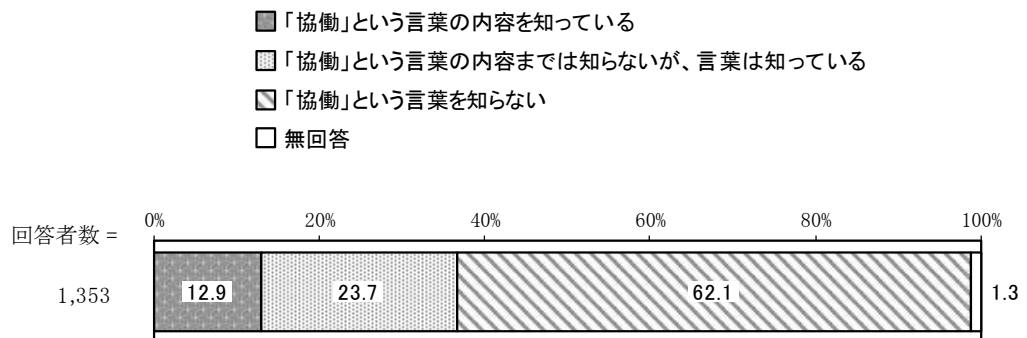


第3章 市民自治について

問 28 吹田市では、市民との協働を進めています。「協働」とは、市民及び市が、共通の目的を実現するため、それぞれの役割と責任を自覚しながら、お互いの立場を尊重し、協力することをいいます。この「協働」という言葉について、あなたはご存知でしたか。(1つだけ○印)

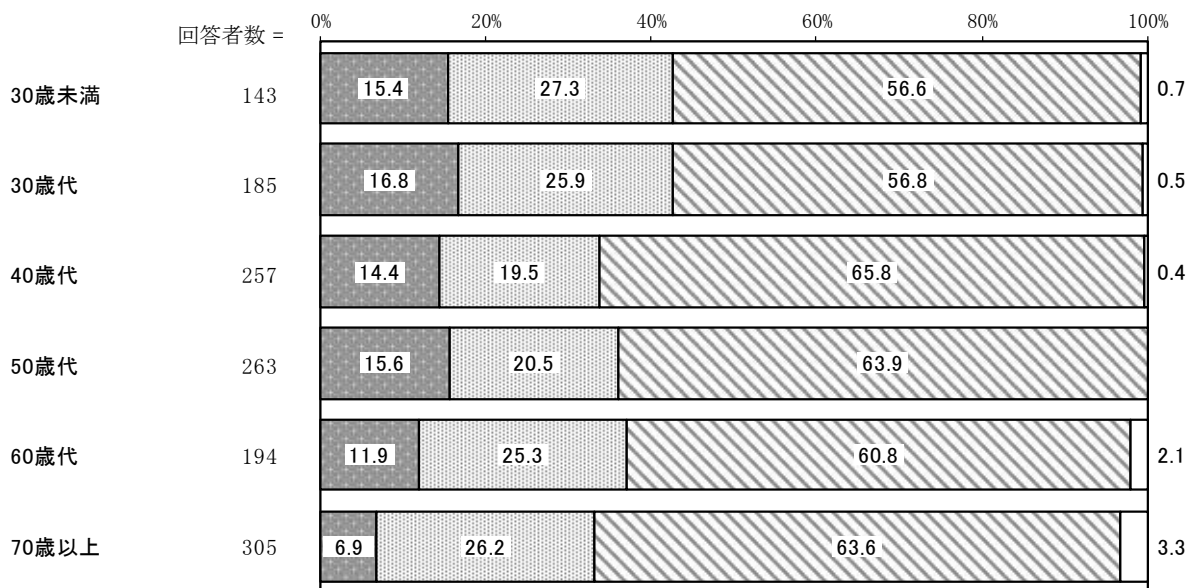
「協働」という言葉を知らない」の割合が62.1%と最も高く、次いで「協働」という言葉の内容までは知らないが、言葉は知っている」の割合が23.7%、「協働」という言葉の内容を知っている」の割合が12.9%となっています。

図表 3-1 「協働」という言葉の認知度 (単純回答)



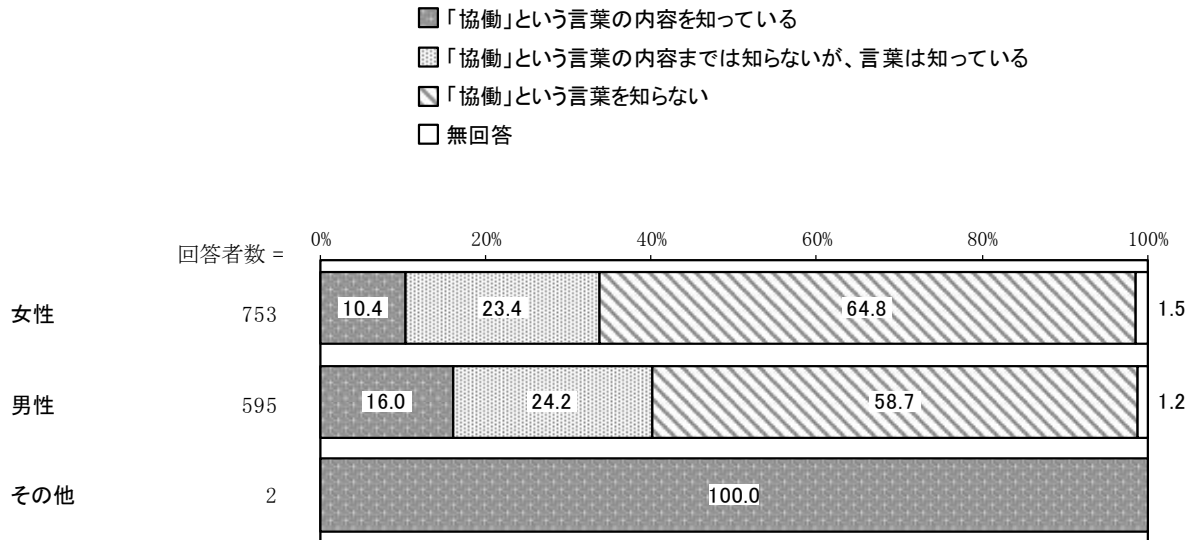
年齢別で見ると、他に比べ、40歳代、50歳代、70歳以上で「協働」という言葉を知らない」の割合が高くなっています。

図表 3-2 「協働」という言葉の認知度 (年齢別)



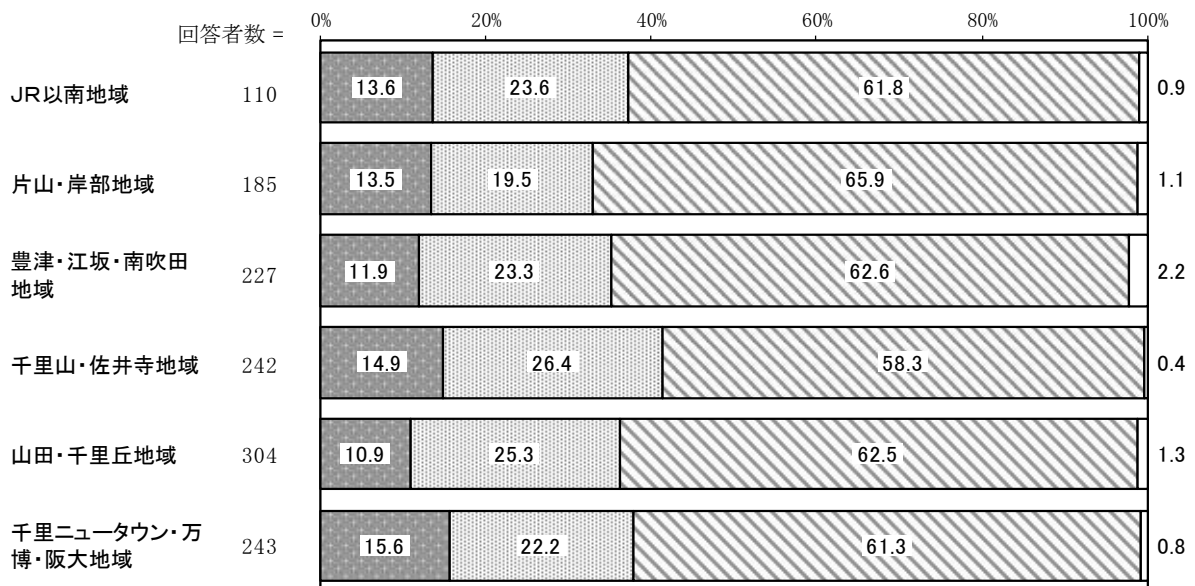
性別でみると、男性に比べ、女性で「協働」という言葉を知らない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「協働」という言葉の内容を知っている」の割合が高くなっています。

図表 3-3 「協働」という言葉の認知度（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「協働」という言葉を知らない」の割合が高くなっています。

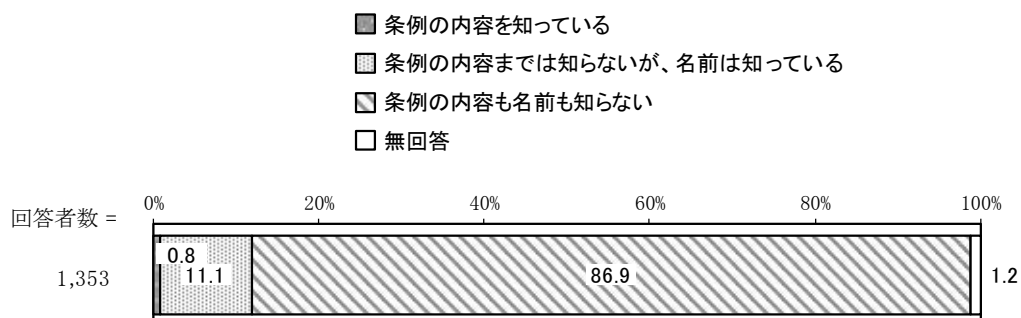
図表 3-4 「協働」という言葉の認知度（居住地域別）



問 29 吹田市は平成 19 年 1 月に「協働」の理念などを定めた吹田市自治基本条例を施行しました。この条例についてご存知ですか。（1 つだけ〇印）

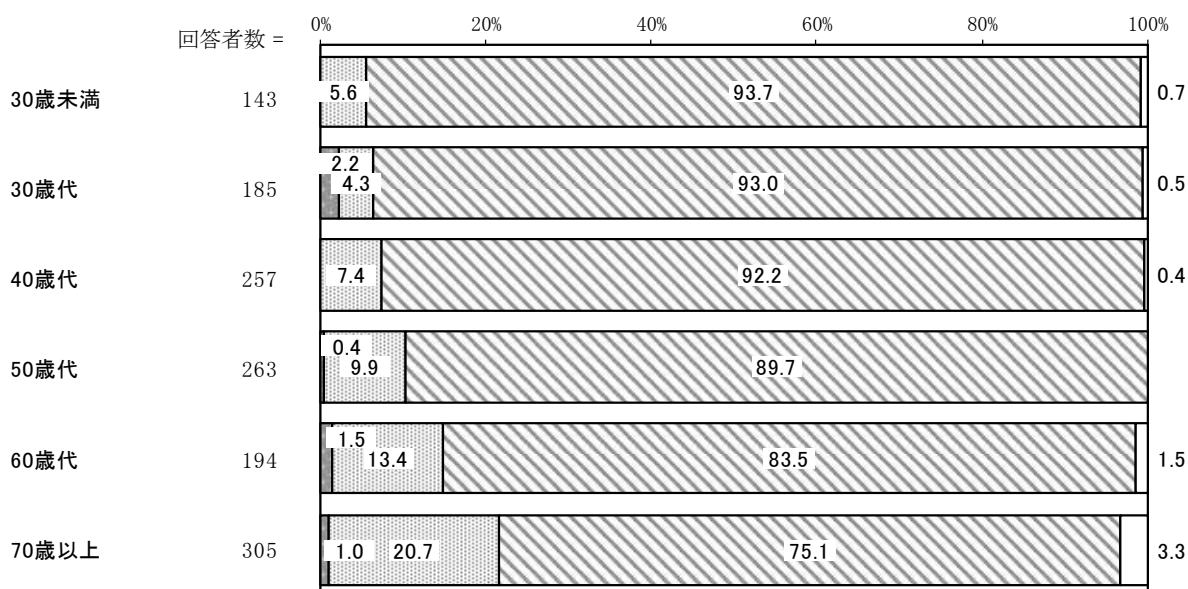
「条例の内容も名前も知らない」の割合が 86.9%と最も高く、次いで「条例の内容までは知らないが、名前は知っている」の割合が 11.1%となっています。

図表 3-5 吹田市自治基本条例の認知度（単純回答）



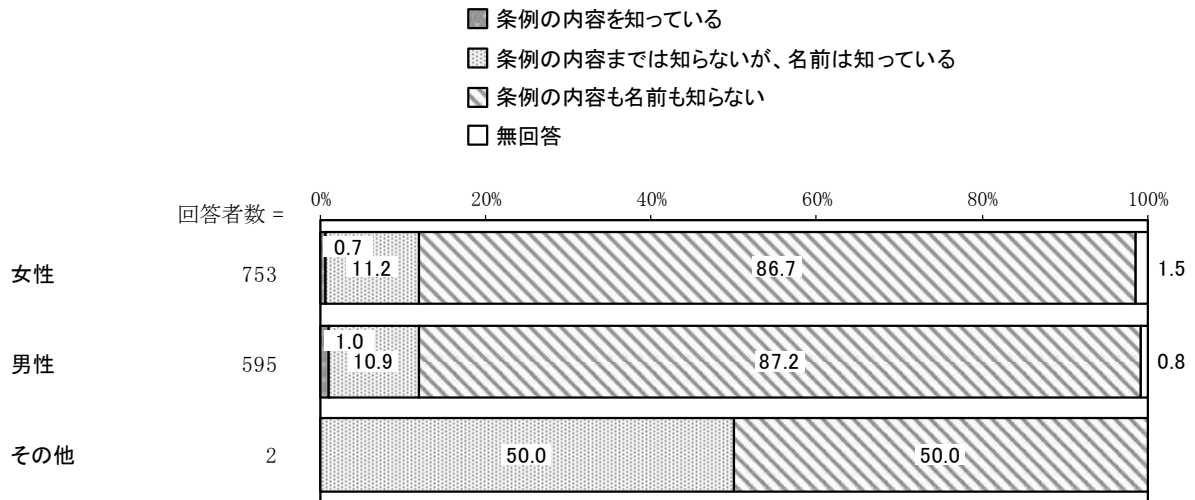
年齢別でみると、他に比べ、30歳未満、30歳代、40歳代で「条例の内容も名前も知らない」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「条例の内容までは知らないが、名前は知っている」の割合が高くなる傾向がみられます。

図表 3-6 吹田市自治基本条例の認知度（年齢別）



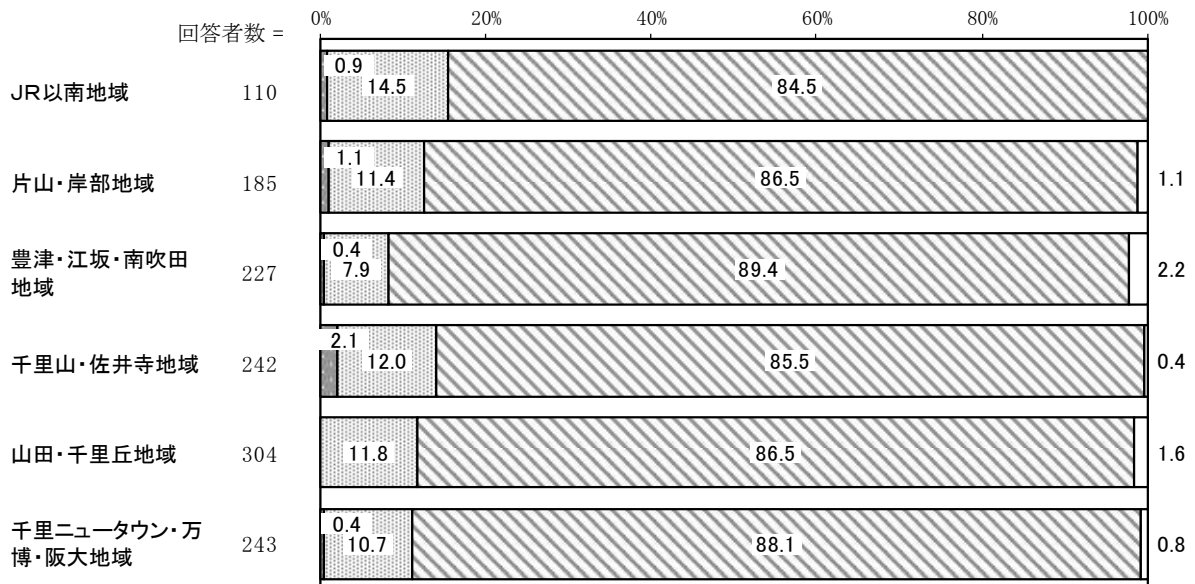
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-7 吹田市自治基本条例の認知度（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、JR以南地域で「条例の内容までは知らないが、名前は知っている」の割合が高くなっています。

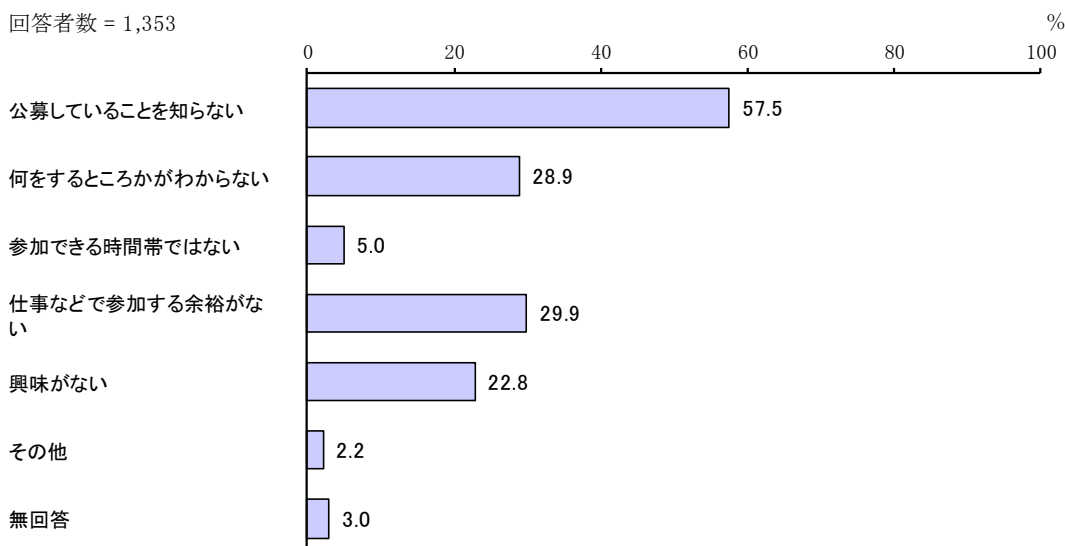
図表 3-8 吹田市自治基本条例の認知度（居住地域別）



問 30 多くの審議会では委員を市民から公募していますが、市民からの応募が少ないのが現状です。それはどういう理由からだと思いませんか。（2つまで〇印）

「公募していることを知らない」の割合が57.5%と最も高く、次いで「仕事などで参加する余裕がない」の割合が29.9%、「何をするとところかがわからない」の割合が28.9%となっています。

図表 3-9 審議会委員の市民からの応募が少ない理由（単純回答）



年齢別で見ると、30歳未満、30歳代、40歳代、50歳代で「仕事などで参加する余裕がない」の割合が高くなっています。

図表 3-10 審議会委員の市民からの応募が少ない理由（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	公募していることを知らない	何をするとところかがわからない	参加できる時間帯ではない	仕事などで参加する余裕がない	興味がない	その他	無回答
30歳未満	143	45.5	23.8	4.2	38.5	37.1	2.1	3.5
30歳代	185	58.4	23.8	2.7	40.5	28.6	1.1	1.1
40歳代	257	57.2	28.0	7.4	38.9	21.4	2.7	1.9
50歳代	263	60.5	28.9	5.7	37.3	17.1	1.9	2.3
60歳代	194	59.3	34.5	6.7	24.7	20.6	1.0	3.1
70歳以上	305	59.3	31.8	3.0	9.2	20.3	3.6	5.6

性別でみると、男性に比べ、女性で「何をするとところかがわからない」の割合が高くなっています。

図表 3-11 審議会委員の市民からの応募が少ない理由（性別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	公募していることを知らない	何をするとところかがわからない	参加できる時間帯ではない	仕事などで参加する余裕がない	興味がない	その他	無回答
女性	753	56.6	32.9	5.2	29.5	22.2	2.1	3.1
男性	595	58.5	23.9	4.9	30.4	23.7	2.4	3.0
その他	2	100.0	—	—	50.0	50.0	—	—

居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「仕事などで参加する余裕がない」の割合が、山田・千里丘地域で「公募していることを知らない」の割合が高くなっています。

図表 3-12 審議会委員の市民からの応募が少ない理由（居住地域別）

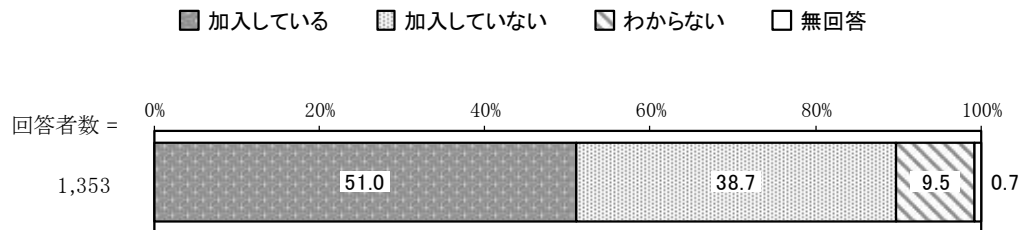
単位：％

区分	有効回答数（件）	公募していることを知らない	何をするとところかがわからない	参加できる時間帯ではない	仕事などで参加する余裕がない	興味がない	その他	無回答
JR以南地域	110	59.1	28.2	7.3	29.1	26.4	2.7	1.8
片山・岸部地域	185	54.1	25.9	3.2	28.1	28.6	1.1	4.9
豊津・江坂・南吹田地域	227	53.7	31.3	4.0	30.4	24.2	1.8	4.0
千里山・佐井寺地域	242	55.8	29.3	5.4	34.7	21.1	2.1	3.7
山田・千里丘地域	304	62.8	28.3	4.3	28.9	23.0	2.0	2.0
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	60.5	29.6	6.2	28.4	18.5	3.7	1.2

問 31 あなたは、自治会に加入していますか。(1つだけ○印)

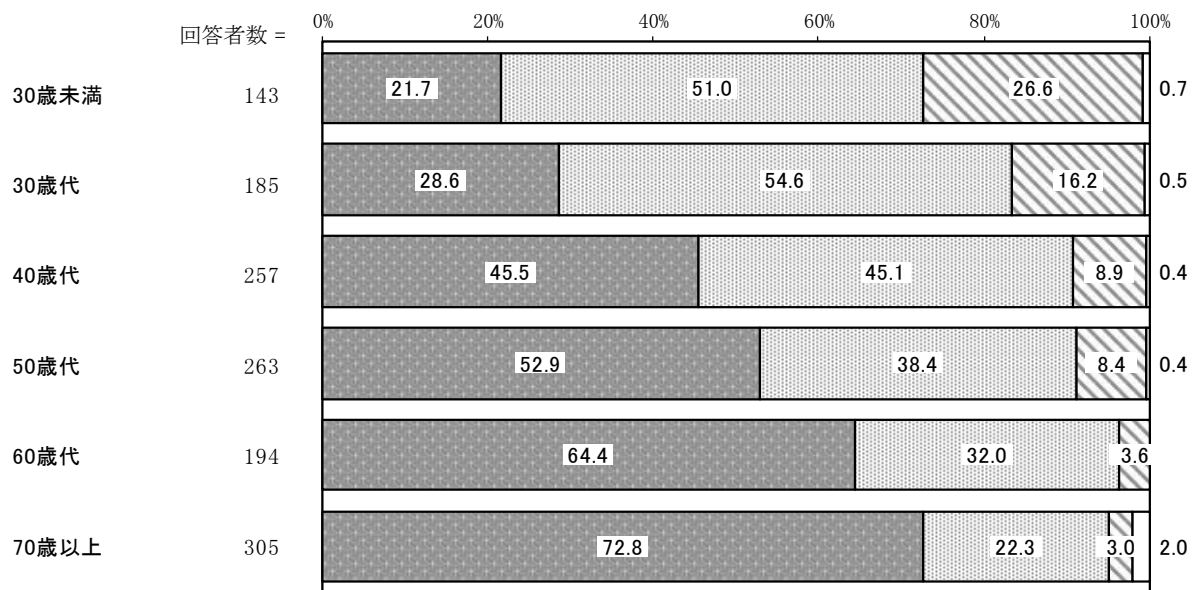
「加入している」の割合が51.0%と最も高く、次いで「加入していない」の割合が38.7%となっています。

図表 3-13 自治会への加入状況 (単純回答)



年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ自治会に加入している割合が高くなる傾向がみられます。

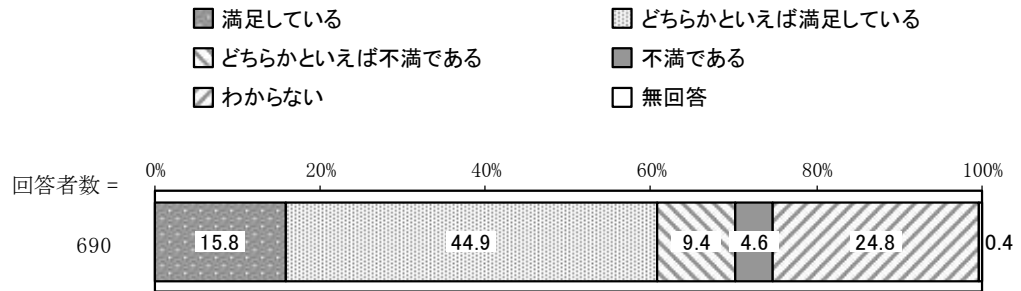
図表 3-14 自治会への加入状況 (年齢別)



問 31-1 あなたは、自治会の活動に満足していますか。(1つだけ○印)

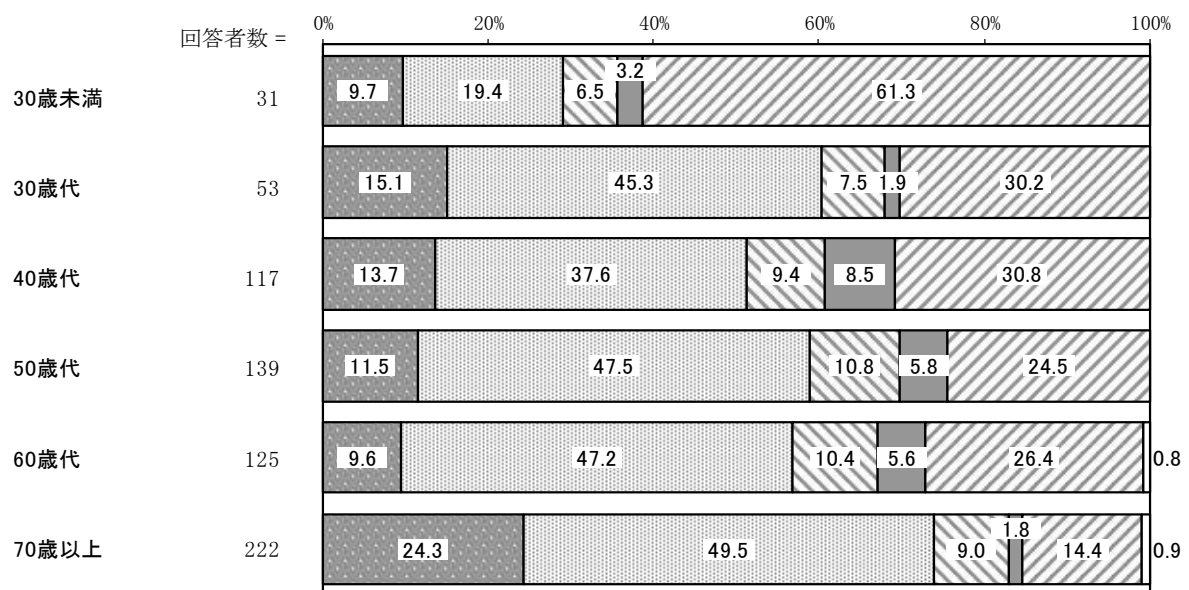
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が60.7%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が14.0%となっています。

図表 3-15 自治会活動の満足度 (単純回答)



年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“満足している”の割合が高くなっています。

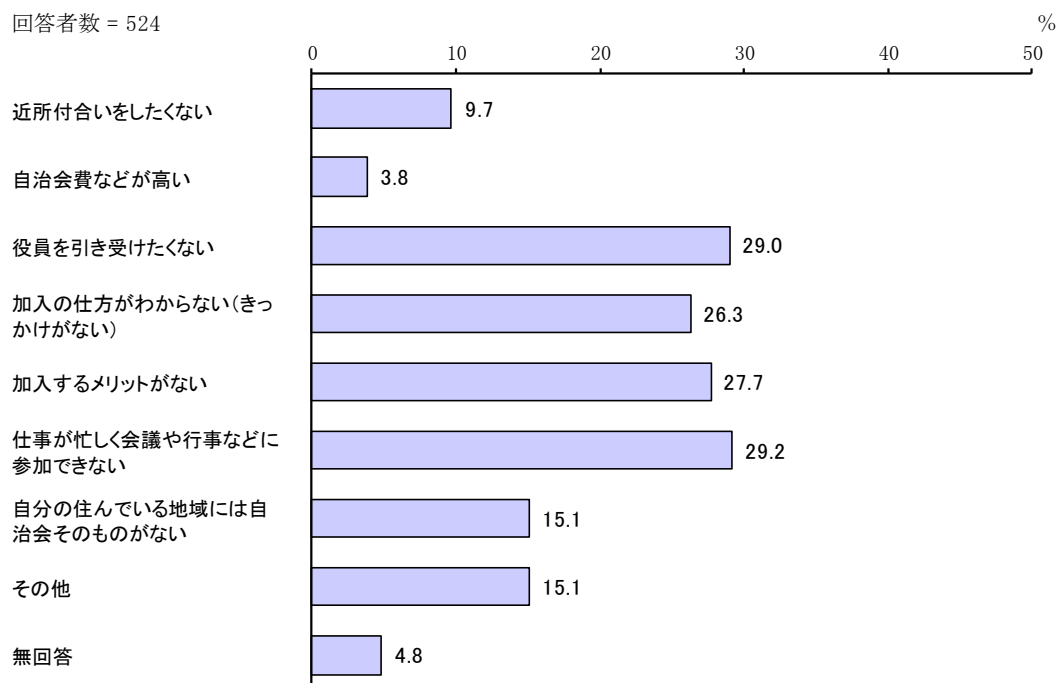
図表 3-16 自治会活動の満足度 (年齢別)



問 31-3 自治会に加入していない理由は何ですか。(いくつでも○印)

「仕事が忙しく会議や行事などに参加できない」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「役員を引き受けたくない」の割合が 29.0%、「加入するメリットがない」の割合が 27.7%となっています。

図表 3-17 自治会へ加入していない理由（単純回答）



年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「加入の仕方がわからない（きっかけがない）」の割合が、60歳代で「役員を引き受けたくない」の割合が高くなっています。

図表 3-18 自治会へ加入していない理由（年齢別）

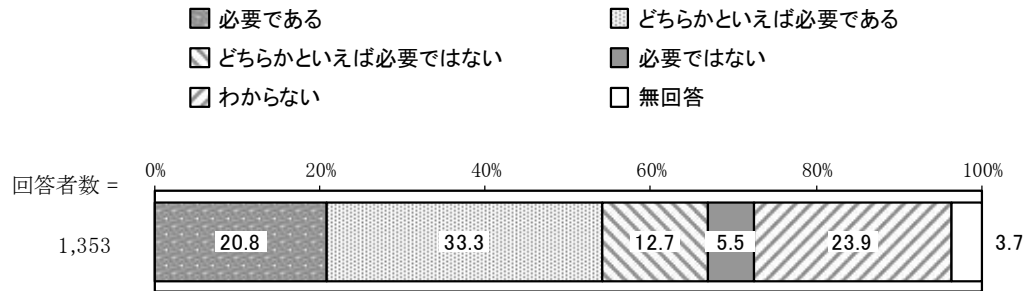
単位：%

区分	有効回答数(件)	近所付き合いをしたくない	自治会費などが高い	役員を引き受けたくない	加入の仕方がわからない(きっかけがない)	加入するメリットがない	仕事が忙しく会議や行事などに参加できない	自分の住んでいる地域には自治会そのものがない	その他	無回答
30歳未満	73	4.1	2.7	16.4	32.9	31.5	37.0	2.7	17.8	6.8
30歳代	101	10.9	5.9	34.7	45.5	30.7	38.6	8.9	10.9	2.0
40歳代	116	10.3	4.3	27.6	25.9	27.6	33.6	19.8	13.8	2.6
50歳代	101	9.9	4.0	24.8	24.8	25.7	26.7	22.8	14.9	3.0
60歳代	62	9.7	4.8	40.3	6.5	33.9	24.2	19.4	14.5	4.8
70歳以上	68	11.8	—	30.9	11.8	17.6	5.9	14.7	20.6	13.2

問 32 あなたは、自治会の必要性を感じていますか。(1つだけ○印)

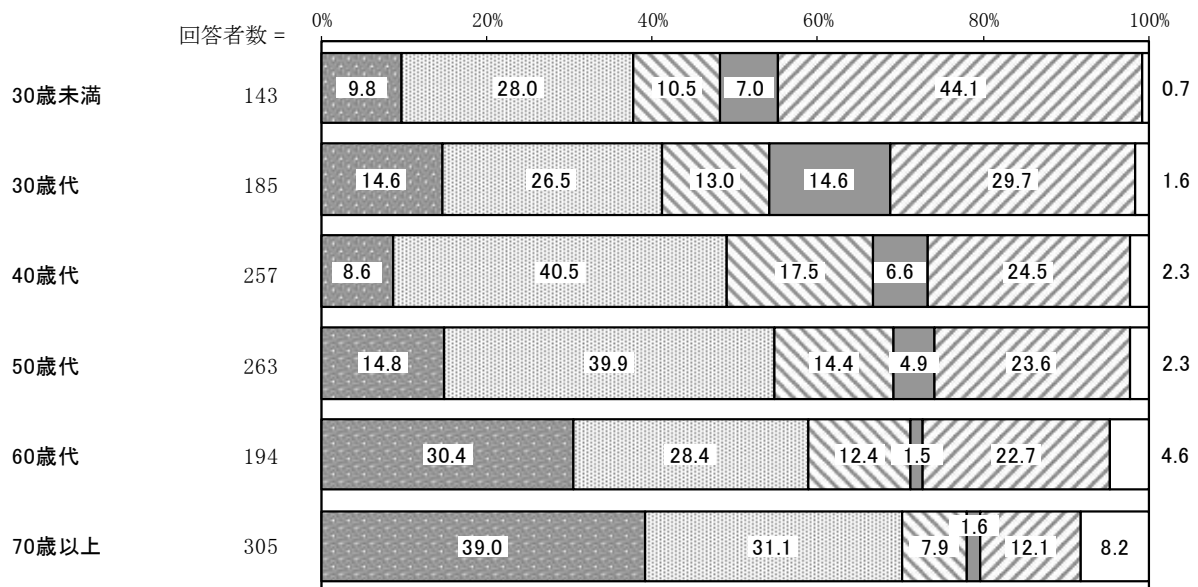
「必要である」と「どちらかといえば必要である」をあわせた“必要である”の割合が 54.1%、「どちらかといえば必要ではない」と「必要ではない」をあわせた“必要ではない”の割合が 18.2% となっています。

図表 3-19 自治会の必要性 (単純回答)



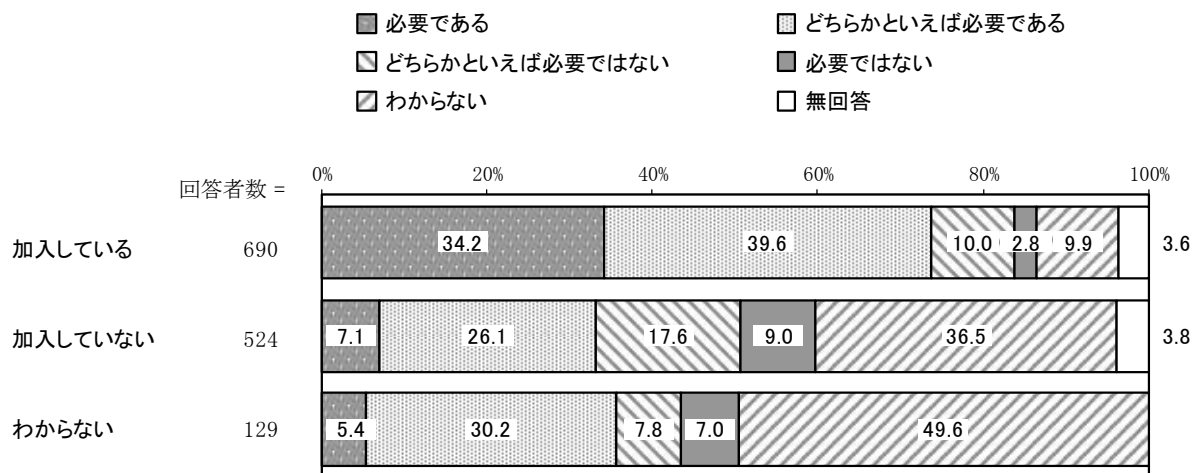
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“必要である”の割合が高くなっています。

図表 3-20 自治会の必要性 (年齢別)



自治会への加入別でみると、他に比べ、自治会加入者で“必要である”の割合が高くなっています。

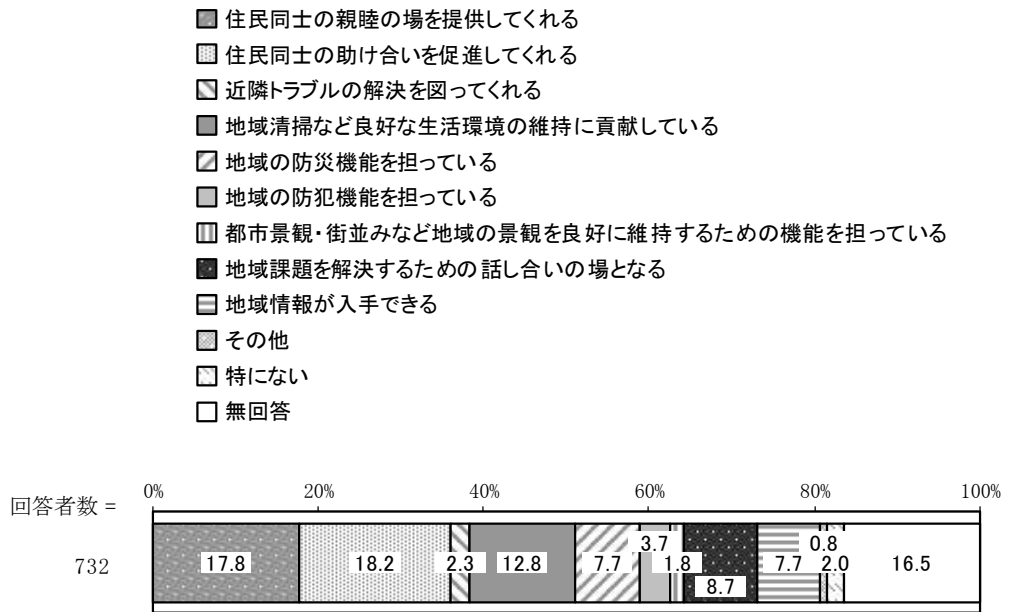
図表 3-21 自治会の必要性（自治会への加入別）



問 32-1 あなたは、自治会の必要性をどのようなところに感じていますか。最も大切だと思うものを教えてください。（1つだけ〇印）

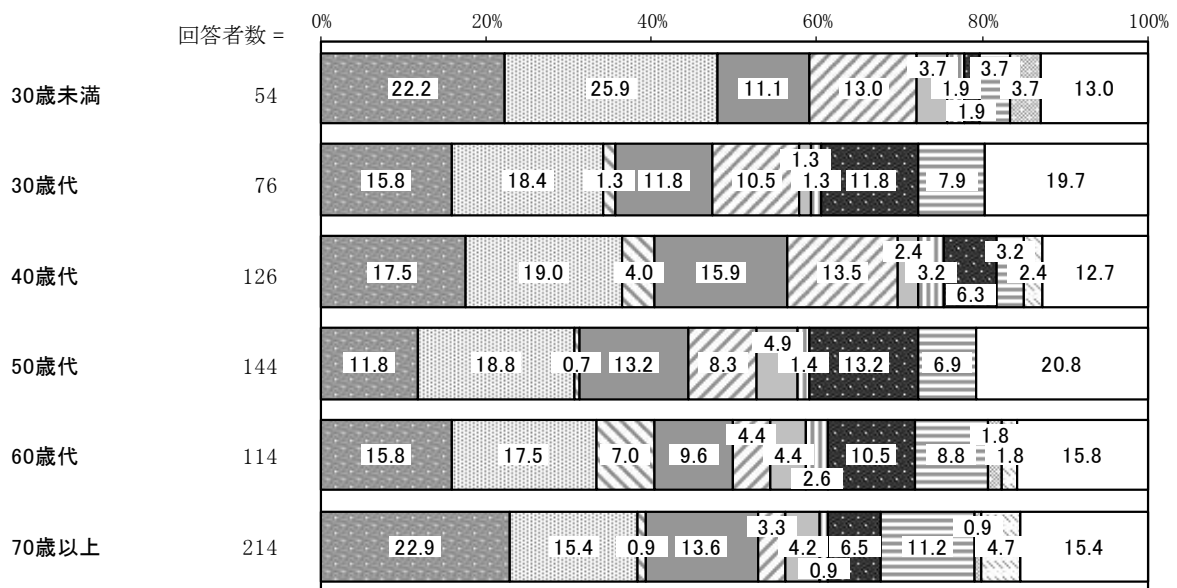
「住民同士の助け合いを促進してくれる」の割合が 18.2%と最も高く、次いで「住民同士の親睦の場を提供してくれる」の割合が 17.8%、「地域清掃など良好な生活環境の維持に貢献している」の割合が 12.8%となっています。

図表 3-22 自治会の必要性を感じる要因（単純回答）



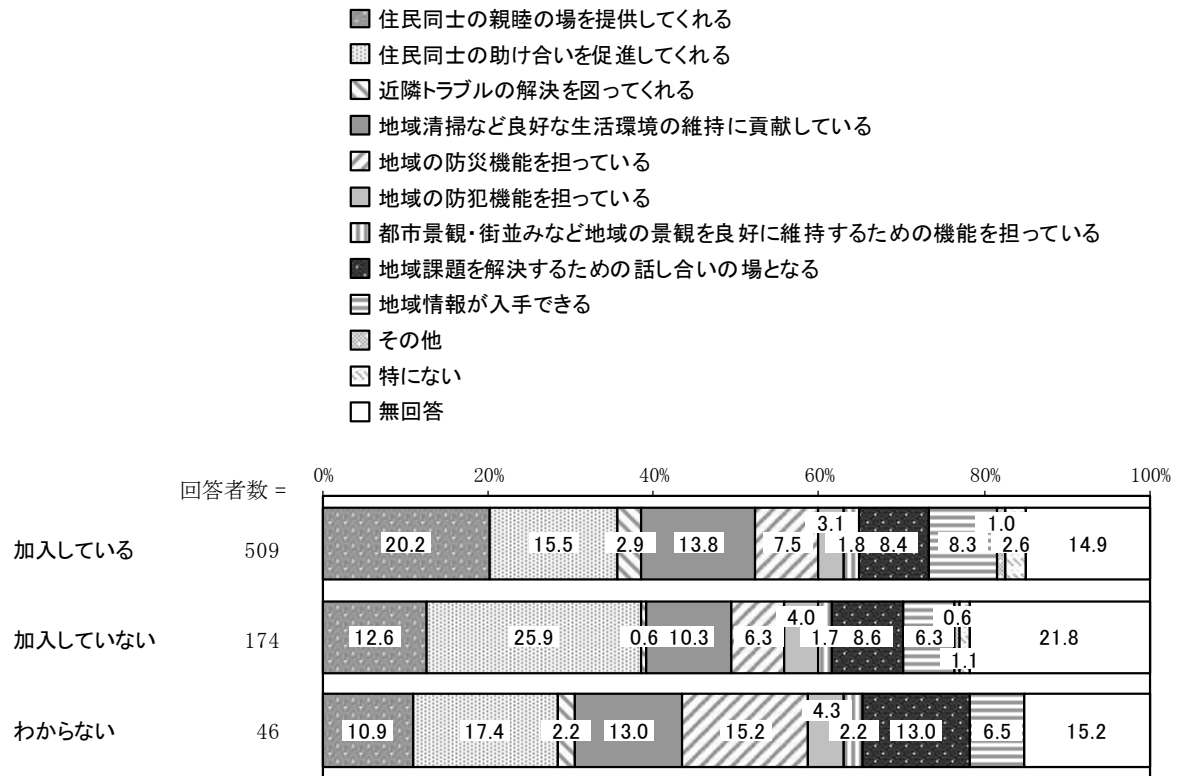
年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満で「住民同士の助け合いを促進してくれる」の割合が高くなっています。

図表 3-23 自治会の必要性を感じる要因（年齢別）



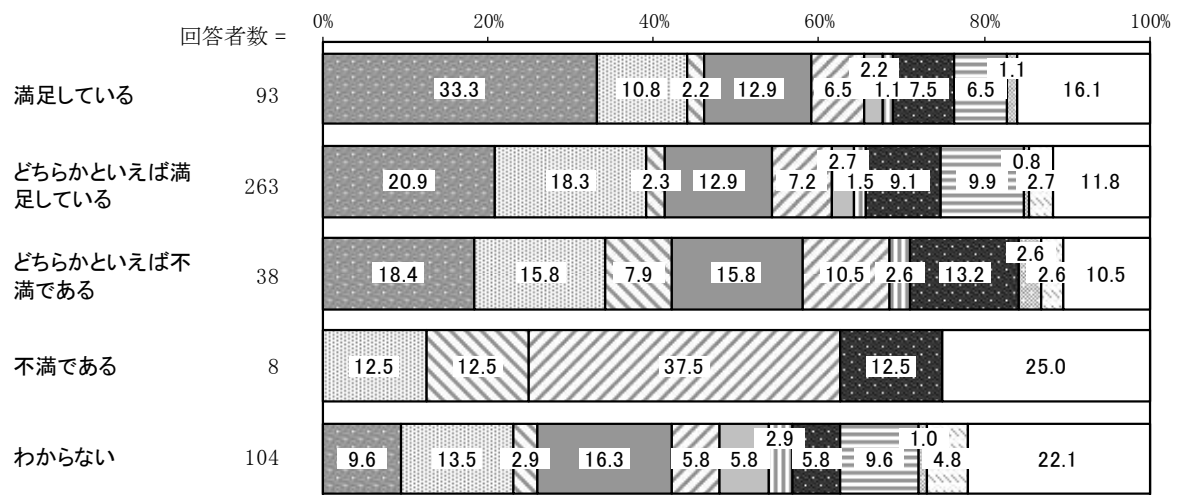
自治会への加入別でみると、他に比べ、自治会加入者で「住民同士の親睦の場を提供してくれる」の割合が、自治会未加入者で「住民同士の助け合いを促進してくれる」の割合が高くなっています。

図表 3-24 自治会の必要性を感じる要因（自治会への加入別）



自治会活動の満足度別でみると、満足している人ほど「住民同士の親睦の場を提供してくれる」の割合が高くなっています。

図表 3-25 自治会の必要性を感じる要因（自治会活動の満足度別）



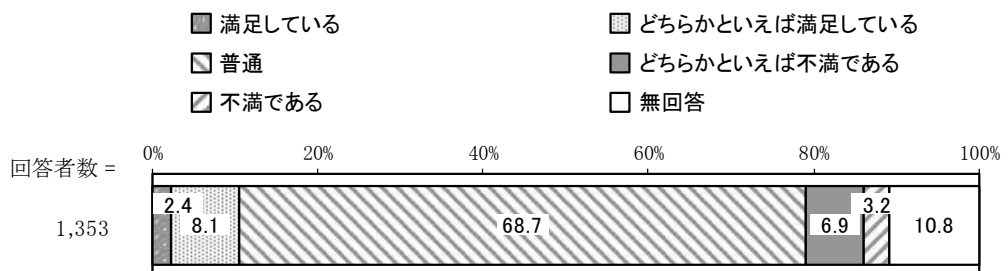
問 33 あなたは、次の項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市民自治を進めるにあたってどの程度重要だと思いますか。
 (「満足度」と「重要度」からそれぞれ1つずつ〇印)

満足度

①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働

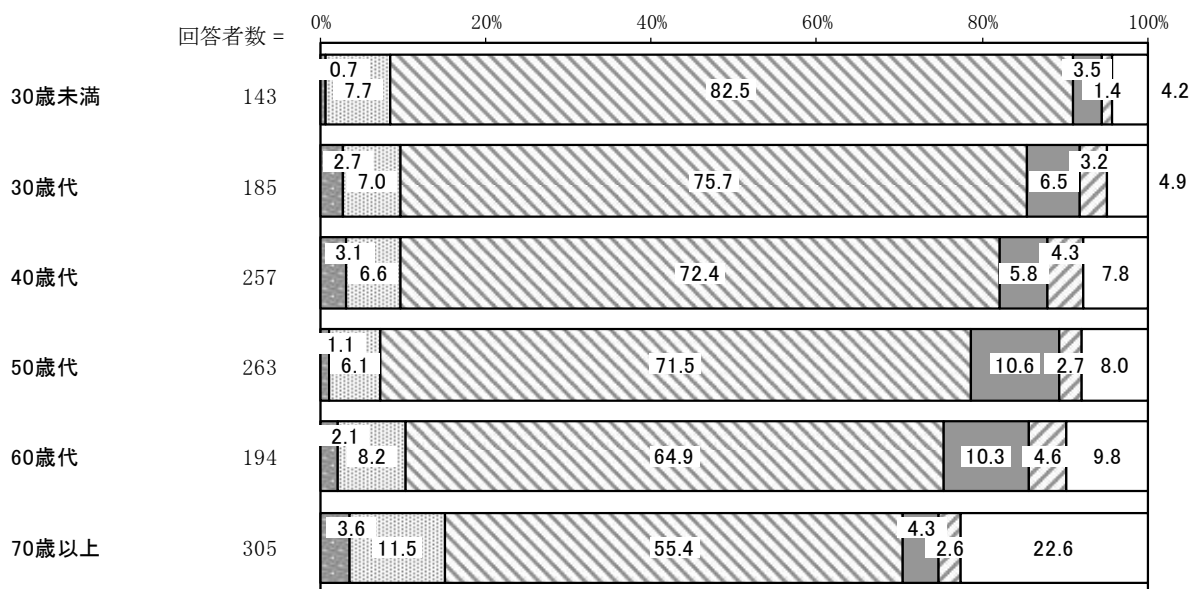
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が10.5%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が10.1%となっています。

図表 3-26 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（単純回答）



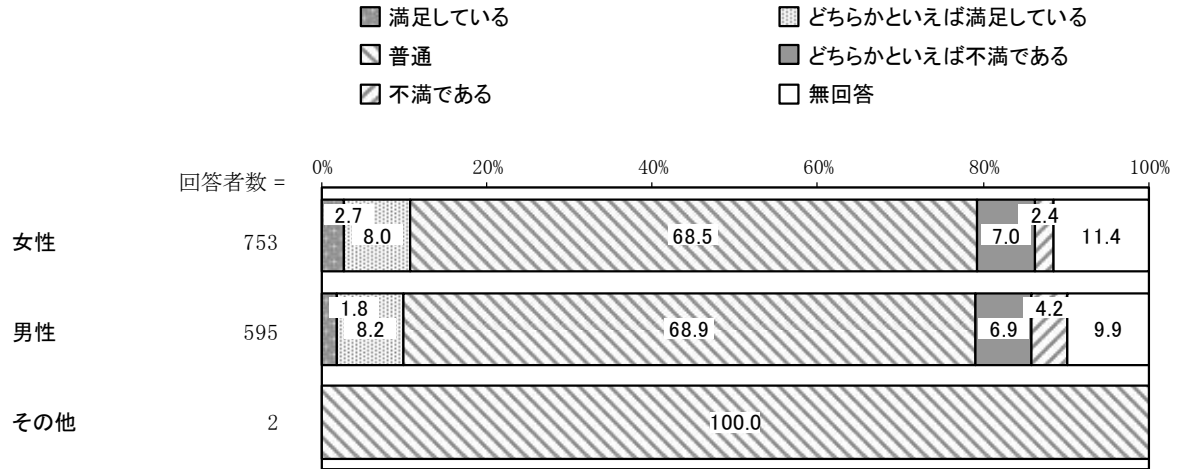
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“満足している”の割合が高くなっています。また、50歳代、60歳代で“不満である”の割合が高くなっています。

図表 3-27 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（年齢別）



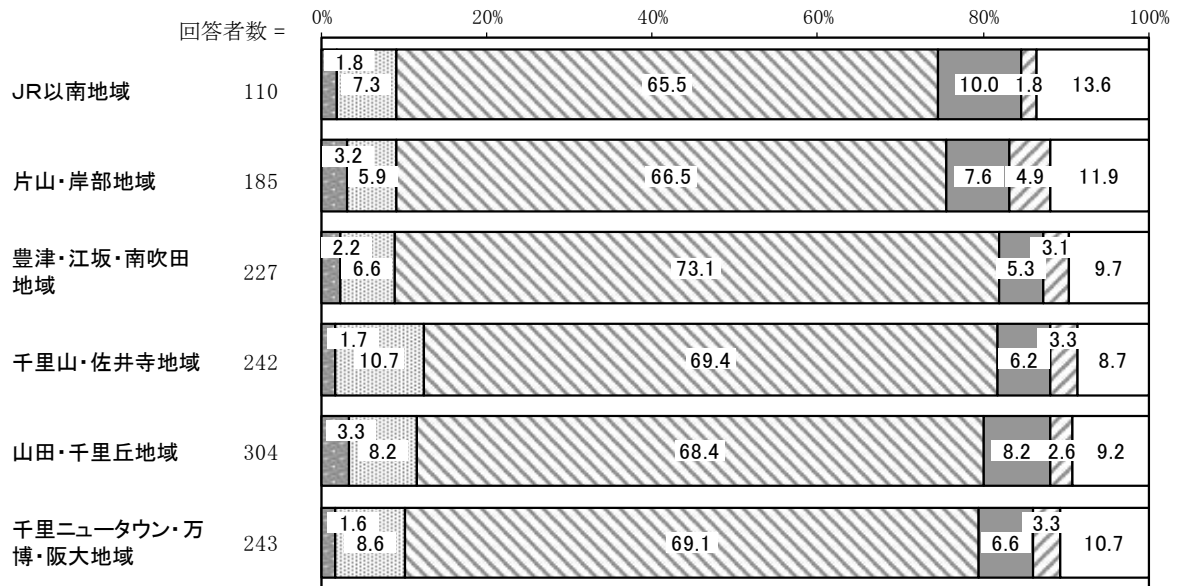
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-28 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「普通」の割合が高くなっています。

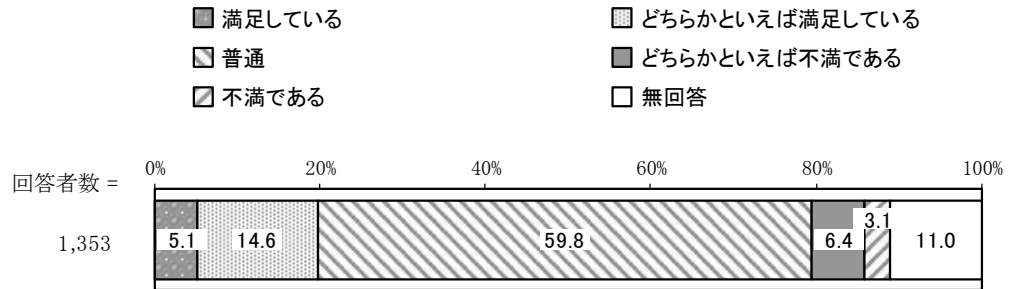
図表 3-29 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（居住地域別）



②市からの情報提供・公表

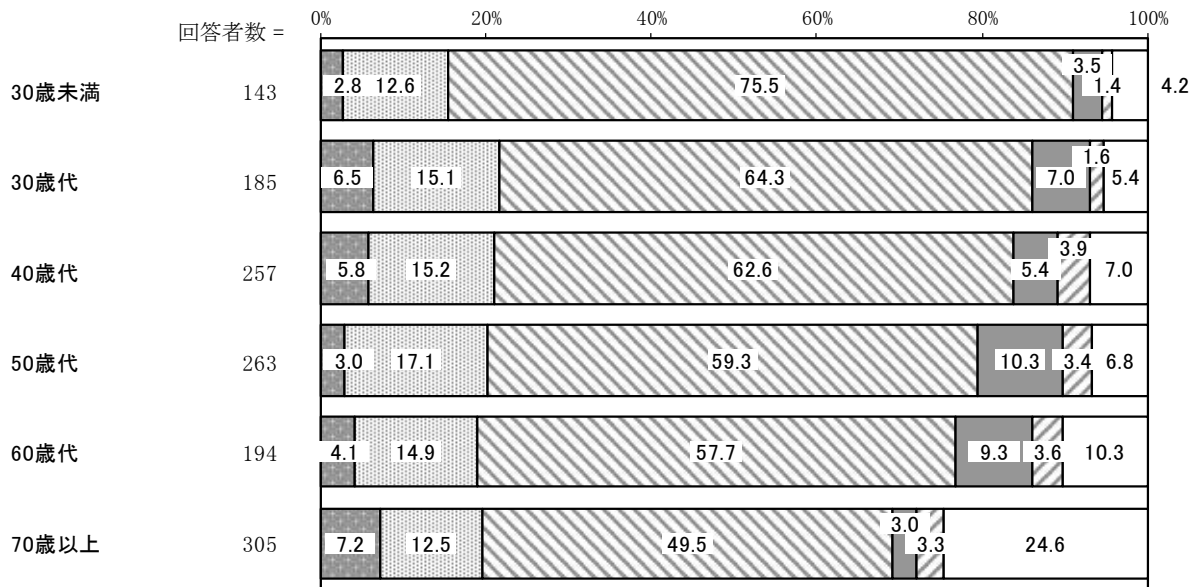
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が19.7%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が9.5%となっています。

図表3-30 市からの情報提供・公表（単純回答）



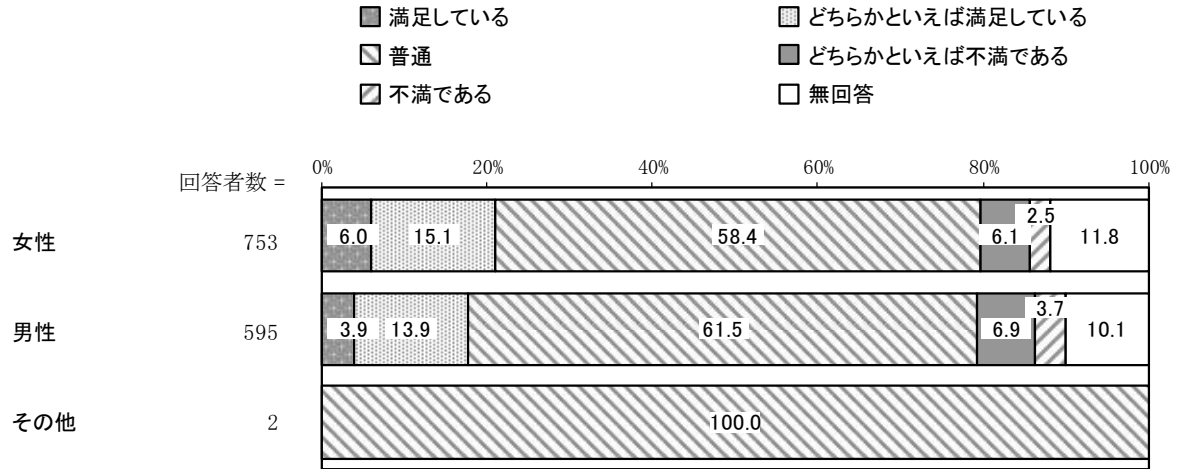
年齢別でみると、他に比べ、30歳未満で“満足している”の割合が低くなっています。

図表3-31 市からの情報提供・公表（年齢別）



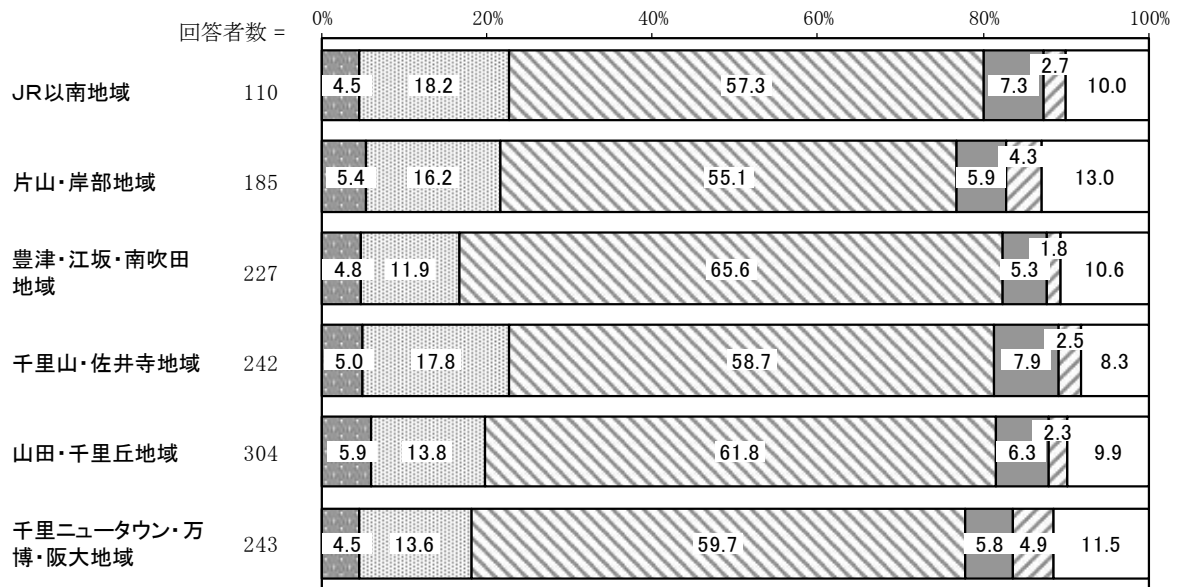
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-32 市からの情報提供・公表（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、JR以南地域、千里山・佐井寺地域で“満足している”の割合が高くなっています。

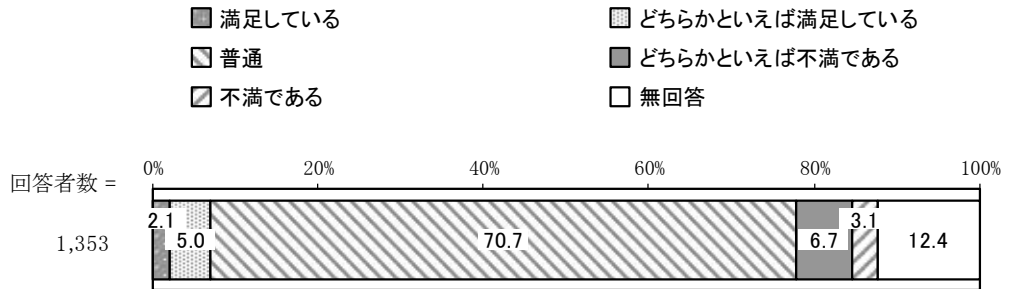
図表 3-33 市からの情報提供・公表（居住地域別）



③市民参画の推進

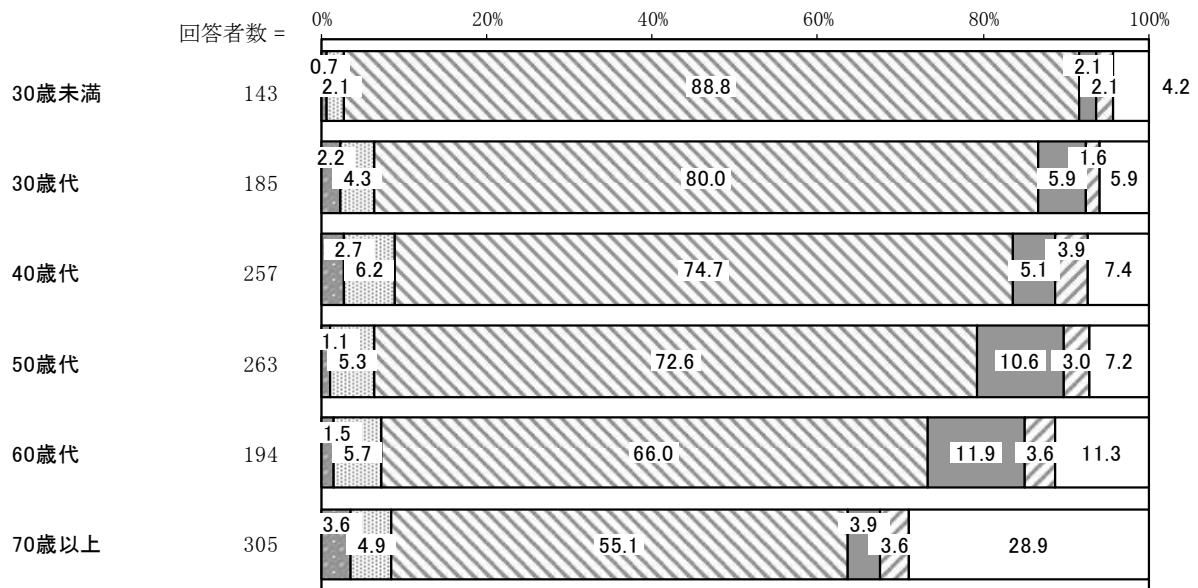
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が7.1%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が9.8%となっています。

図表3-34 市民参画の推進（市民参画の推進）



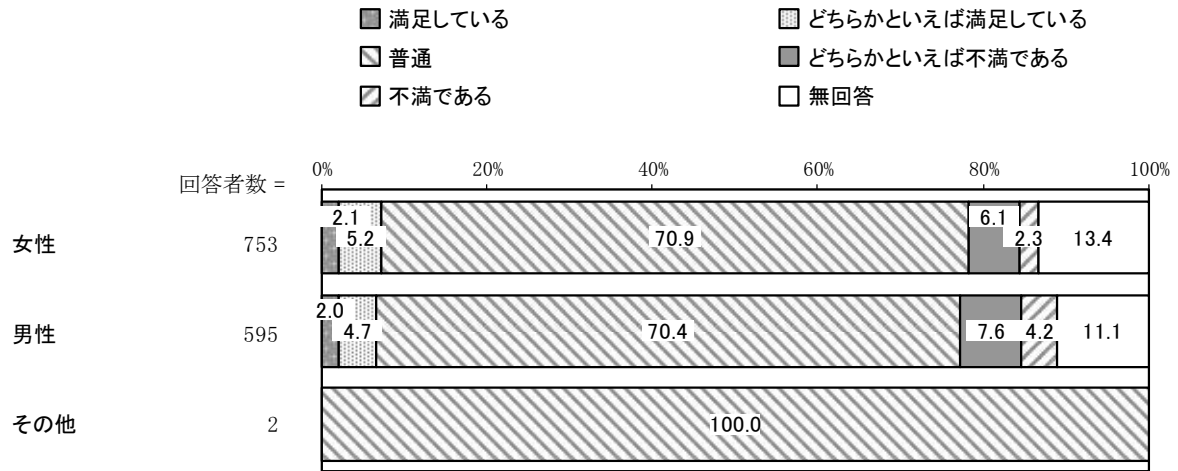
年齢別でみると、他に比べ、50歳代、60歳代で“不満である”の割合が高くなっています。

図表3-35 市民参画の推進（年齢別）



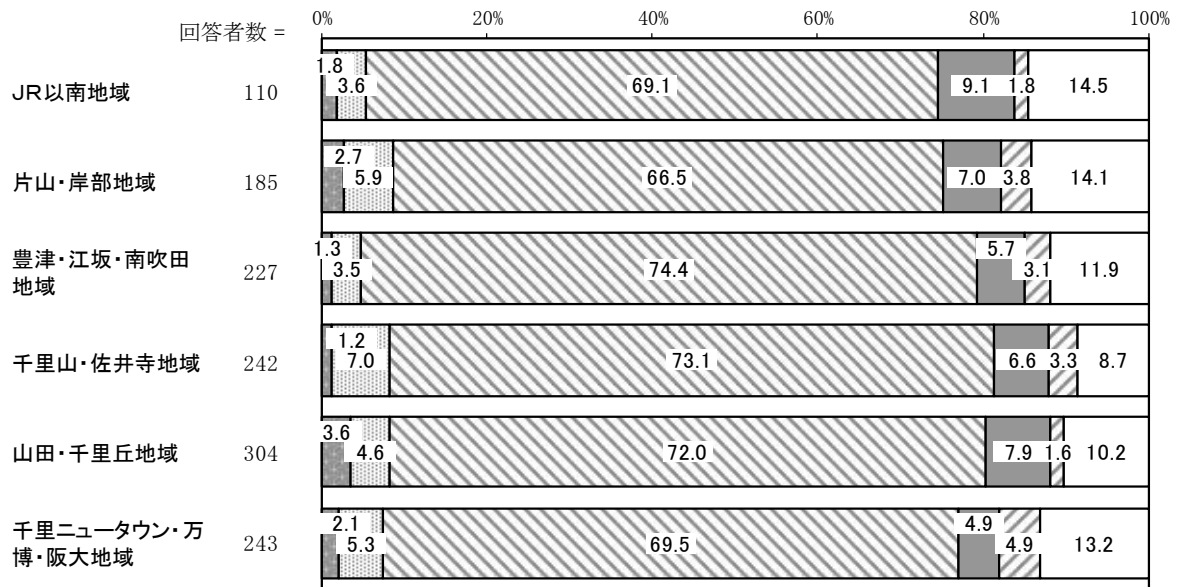
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-36 市民参画の推進（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域で「普通」の割合が高くなっています。

図表 3-37 市民参画の推進（居住地域別）

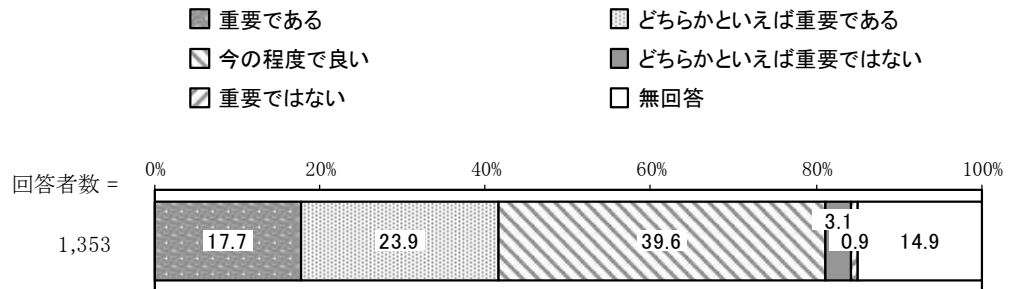


重要度

①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働

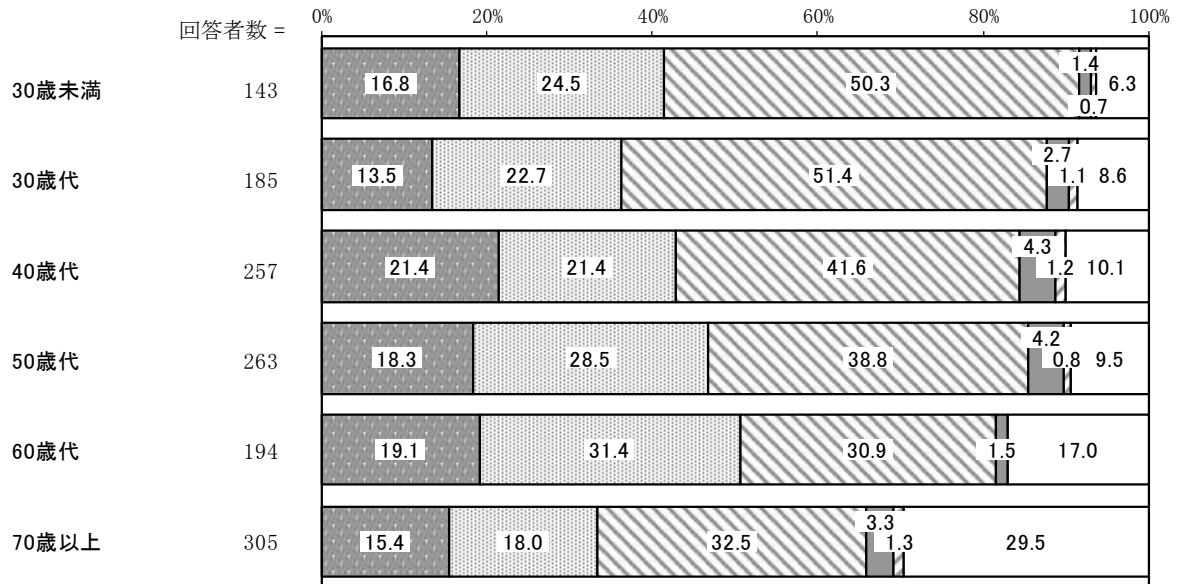
「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が41.6%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が4.0%となっています。

図表 3-38 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（単純回答）



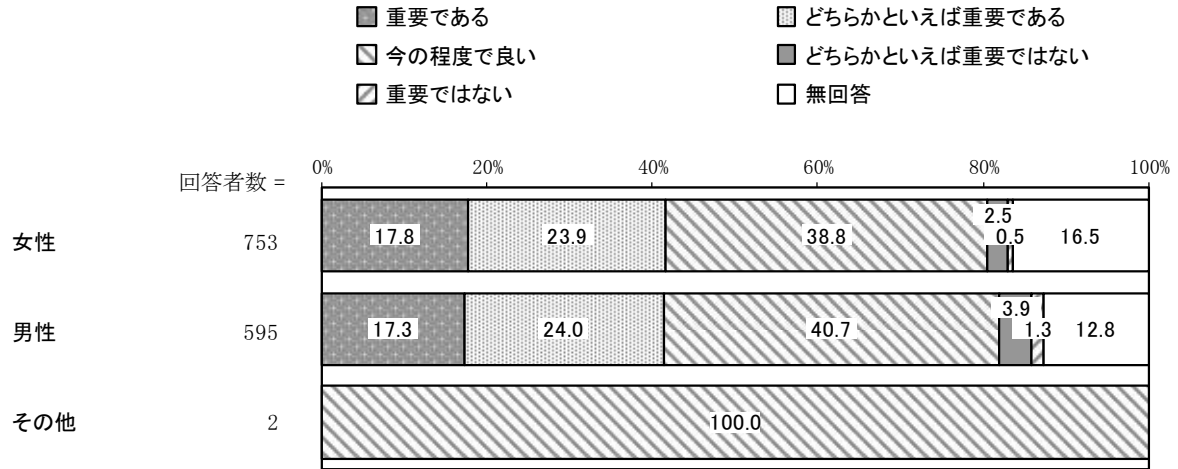
年齢別で見ると、他に比べ、60歳代で“重要である”の割合が高くなっています。

図表 3-39 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（年齢別）



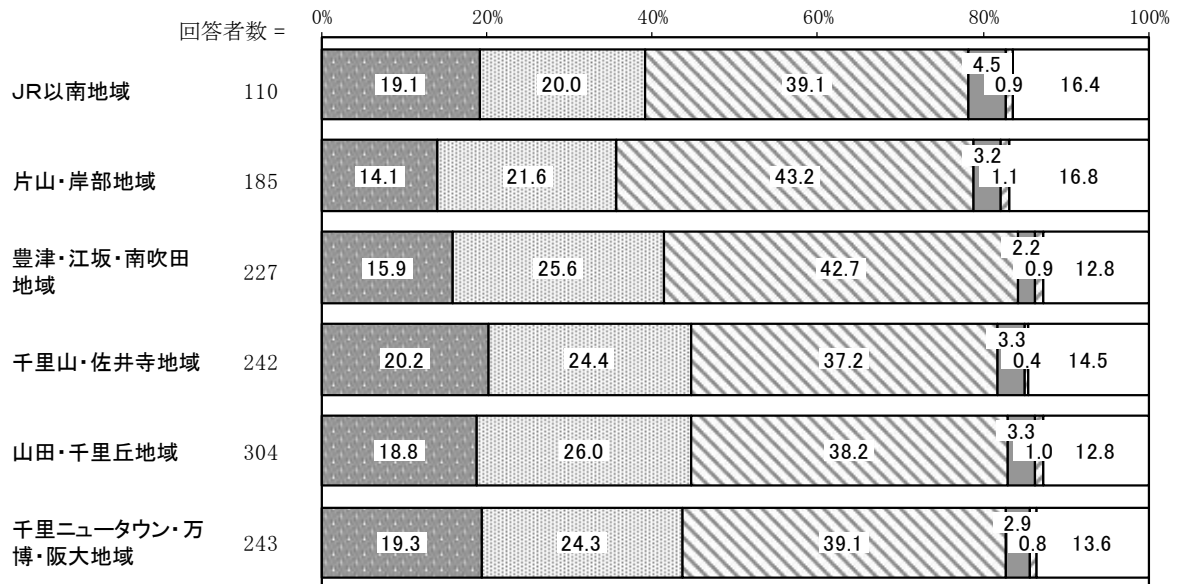
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-40 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で“重要である”の割合が低くなっています。

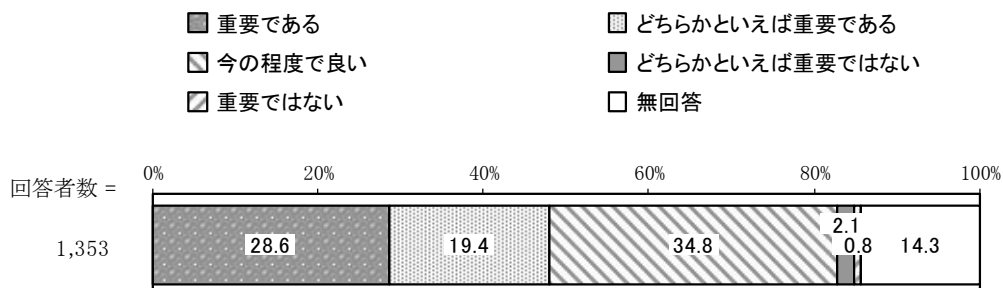
図表 3-41 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（居住地域別）



②市からの情報提供・公表

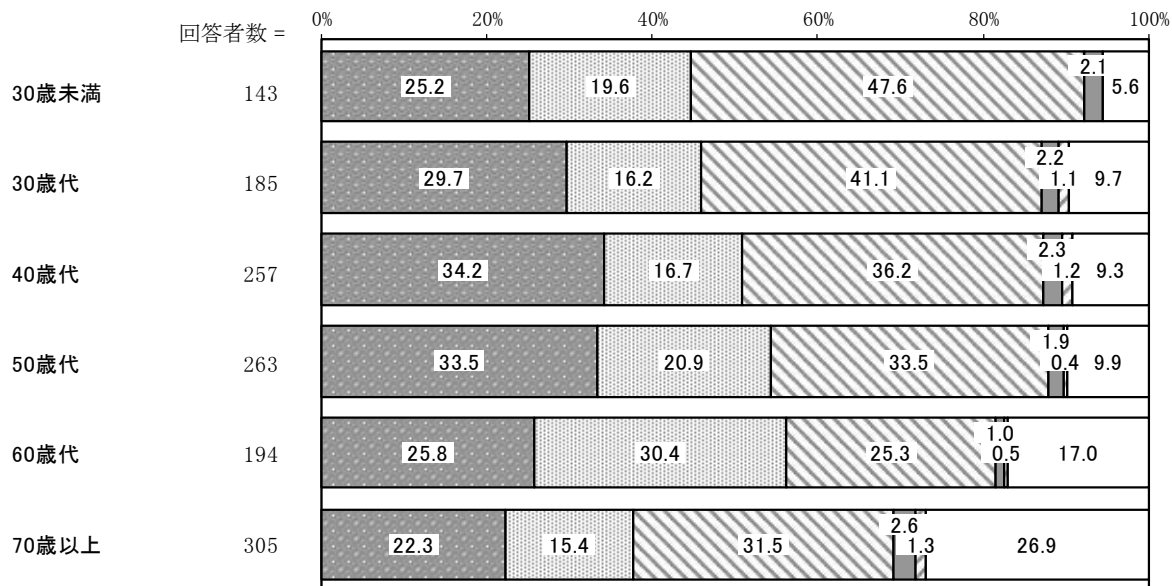
「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が48.0%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が2.9%となっています。

図表3-42 市からの情報提供・公表（単純回答）



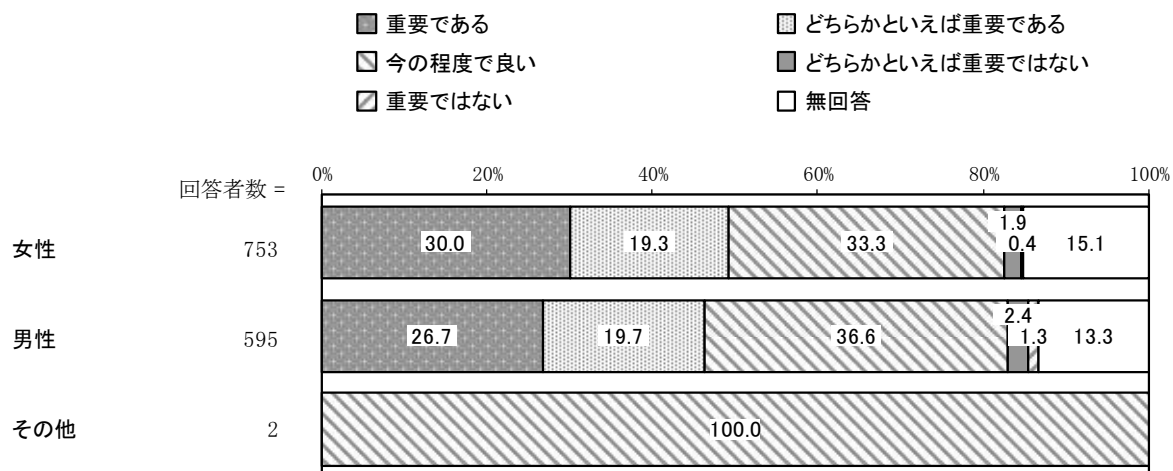
年齢別でみると、他に比べ、50歳代、60歳代で“重要である”の割合が高くなっています。

図表3-43 市からの情報提供・公表（年齢別）



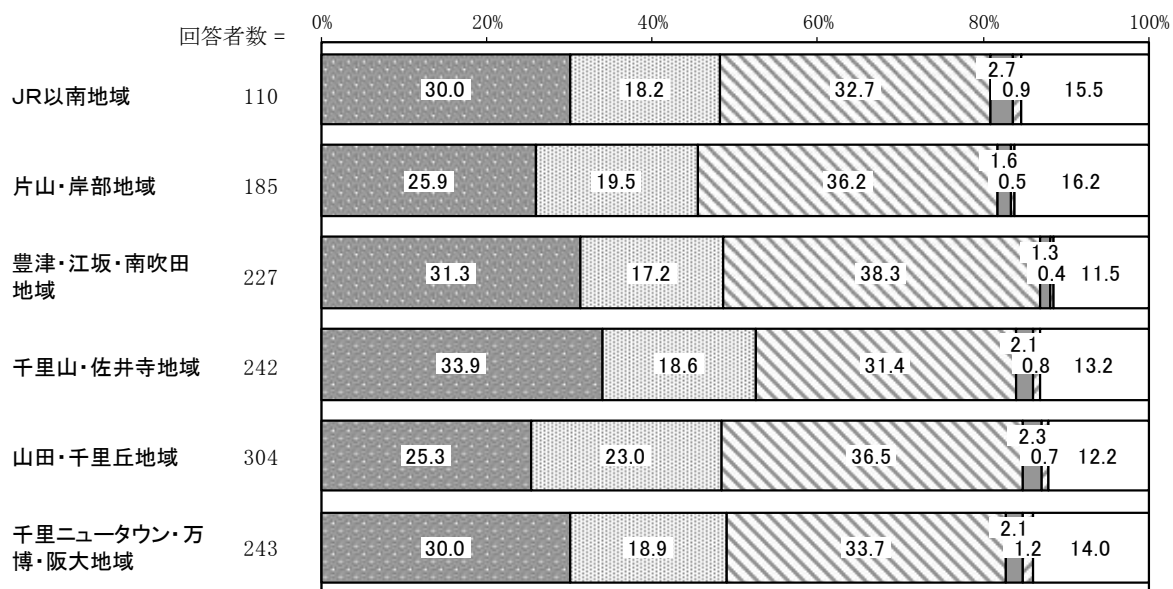
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-44 市からの情報提供・公表（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で“重要である”の割合が最も高くなっています。

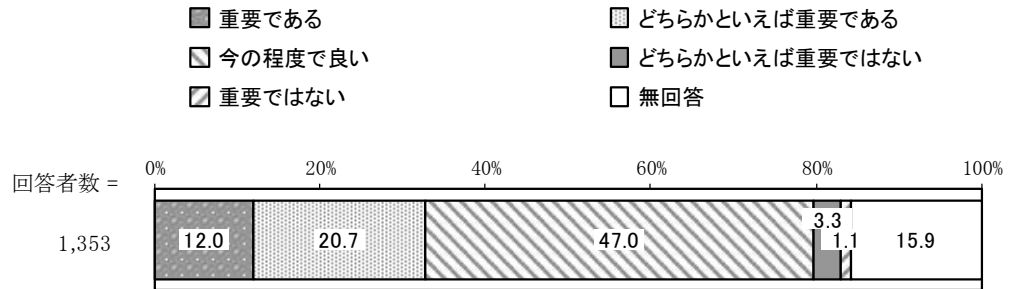
図表 3-45 市からの情報提供・公表（居住地域別）



③市民参画の推進

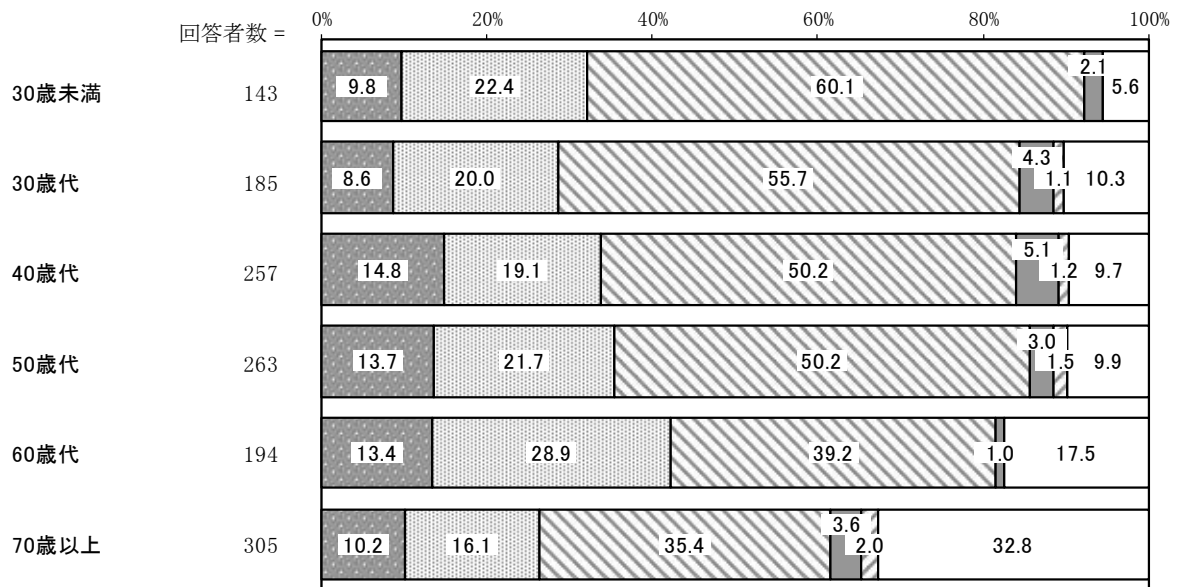
「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が32.7%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が4.4%となっています。

図表3-46 市民参画の推進（市民参画の推進）



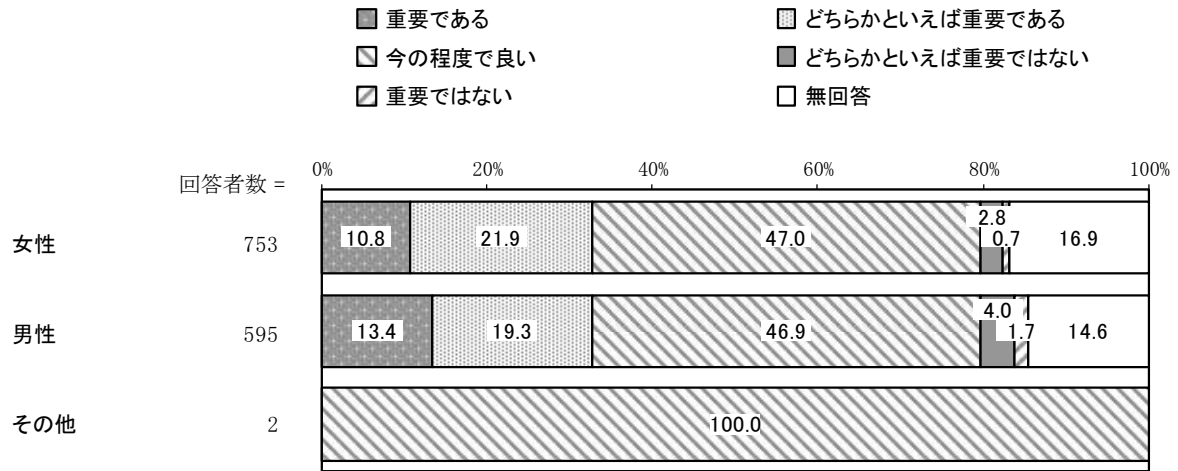
年齢別で見ると、他に比べ、60歳代で“重要である”の割合が高くなっています。

図表3-47 市民参画の推進（年齢別）



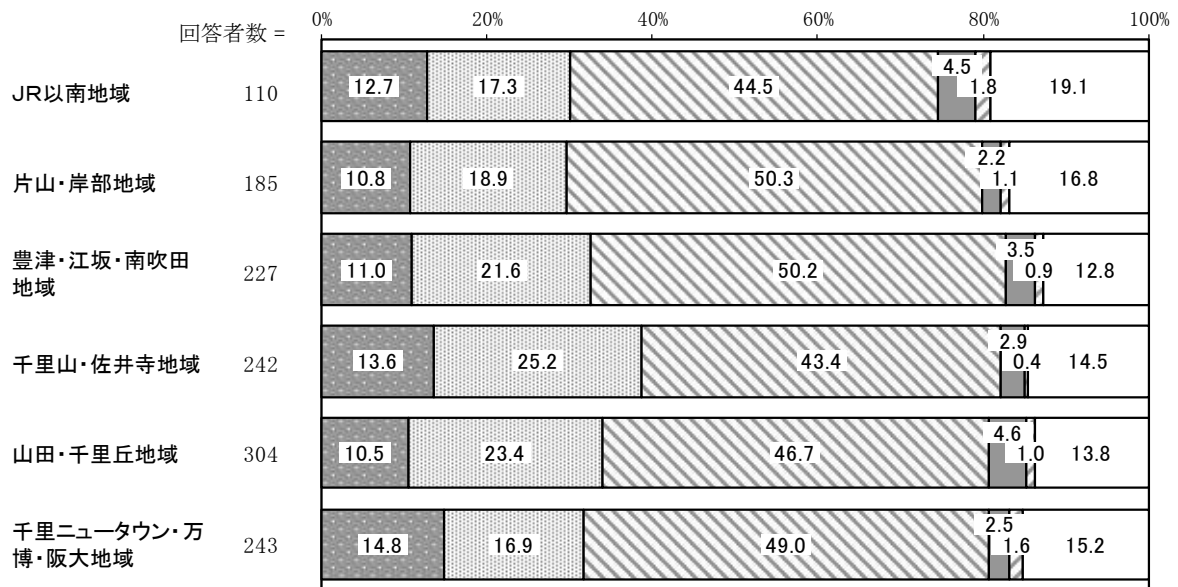
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-48 市民参画の推進（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で“重要である”の割合が高くなっています。

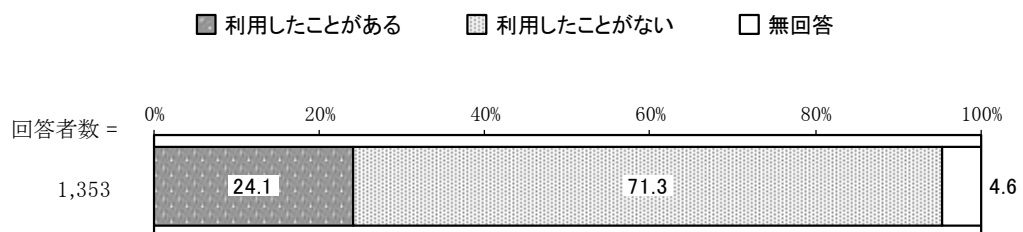
図表 3-49 市民参画の推進（居住地域別）



問 34 吹田市には市民が相互に交流し、多様なコミュニティ活動を行う施設として、コミュニティセンターや市民センター、山田ふれあい文化センター、市民ホールといった「コミュニティ施設」を整備し、多目的ホールや会議室などの貸室の運営を行っています。あなたはこれまで、「コミュニティ施設」の貸室を利用したことがありますか。(1つだけ○印)

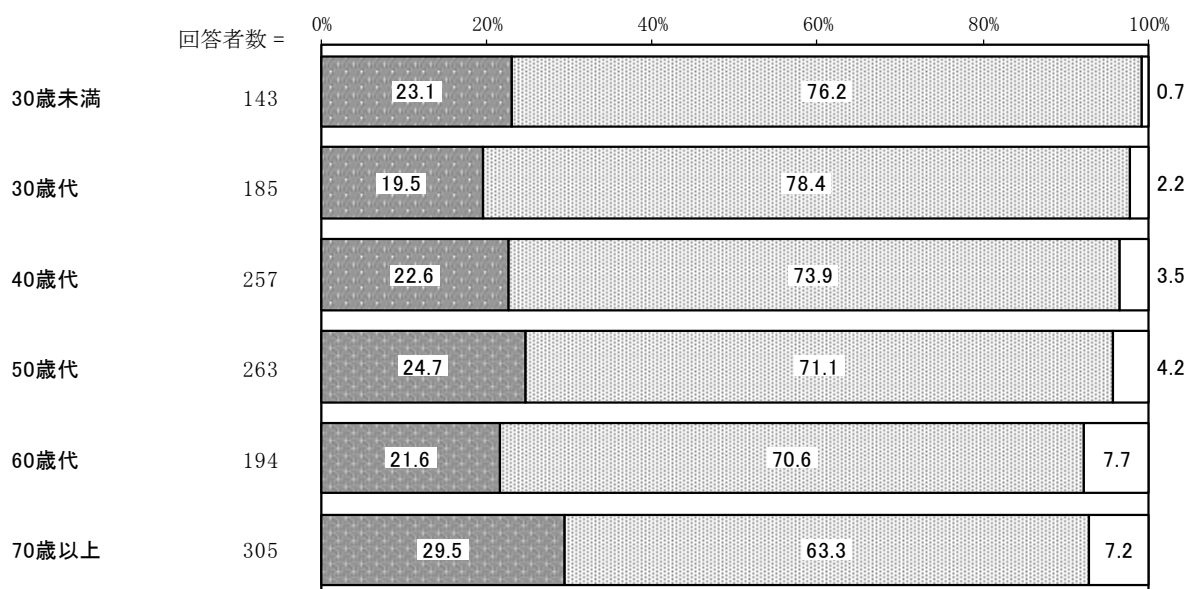
「利用したことがある」の割合が24.1%、「利用したことがない」の割合が71.3%となっています。

図表 3-50 「コミュニティ施設」の利用経験（単純回答）



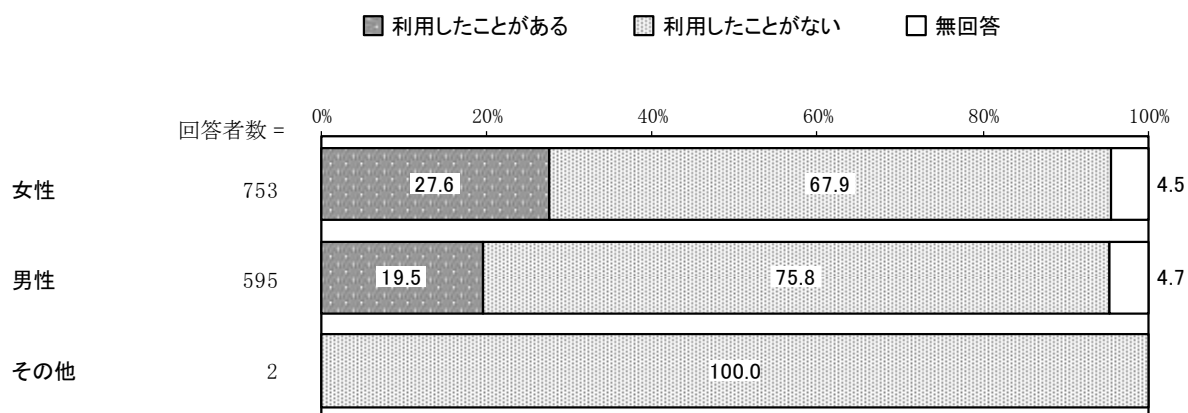
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上以外で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

図表 3-51 「コミュニティ施設」の利用経験（年齢別）



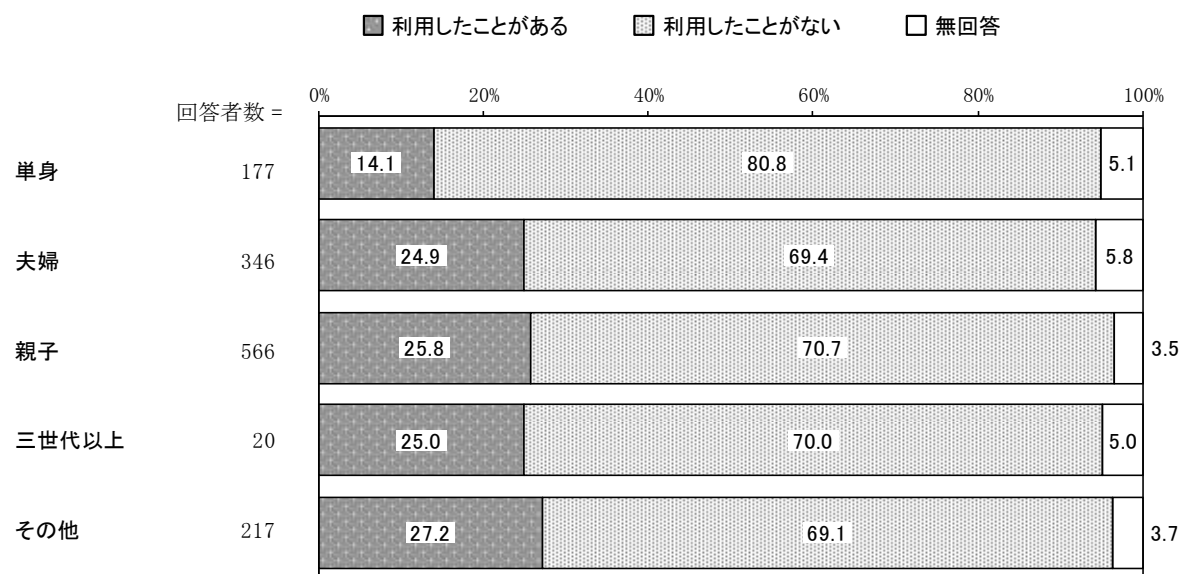
性別でみると、男性に比べ、女性で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

図表 3-52 「コミュニティ施設」の利用経験（性別）



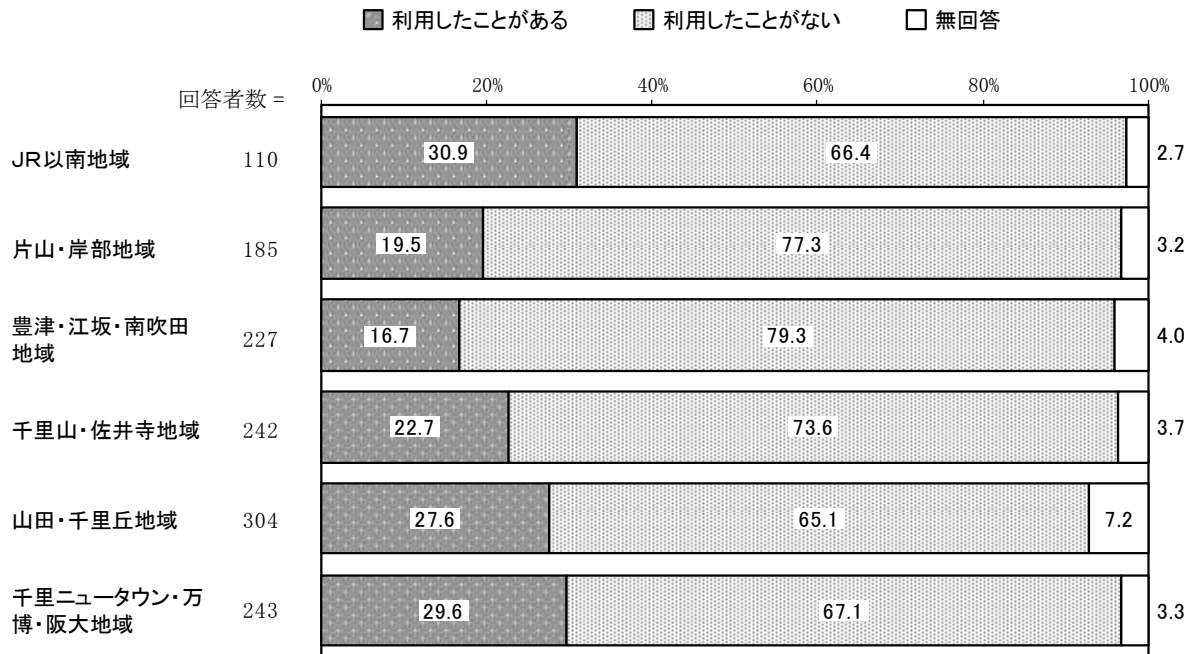
家族構成別でみると、他に比べ、単身で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

図表 3-53 「コミュニティ施設」の利用経験（家族構成別）



居住地域別で見ると、他に比べ、片山・岸辺地域、豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

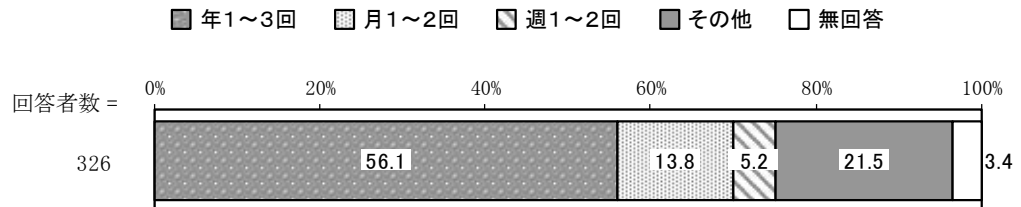
図表 3-54 「コミュニティ施設」の利用経験（居住地域別）



問 34-1 あなたは、コミュニティ施設をどのくらいの頻度で利用していますか。最も近いものをお答えください。(1つだけ○印)

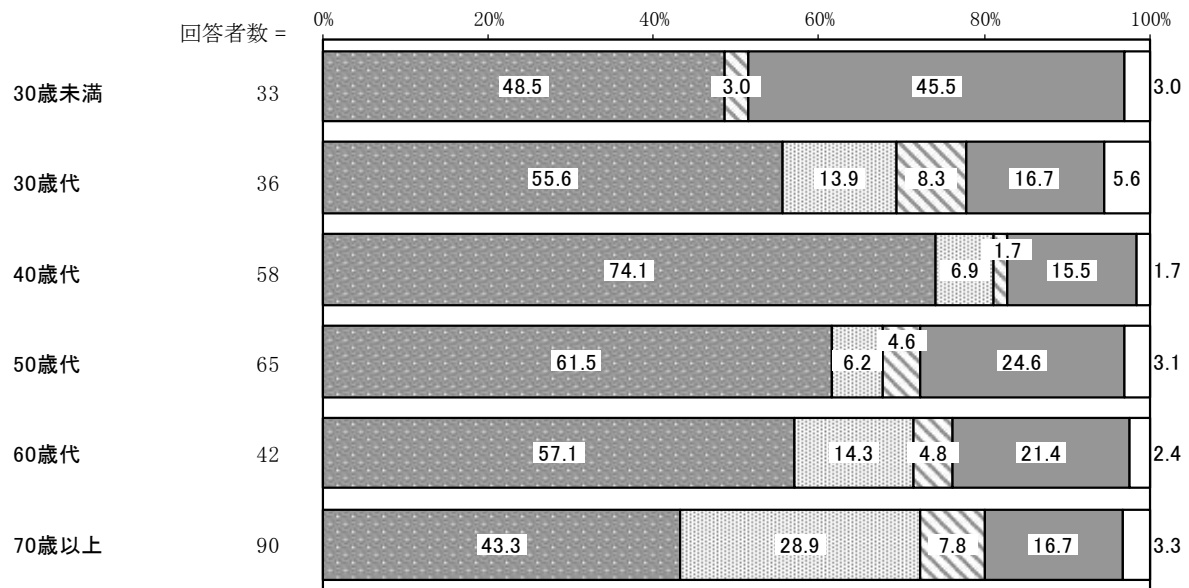
「年1～3回」の割合が56.1%と最も高く、次いで「月1～2回」の割合が13.8%となっています。

図表 3-55 「コミュニティ施設」の利用頻度 (単純回答)



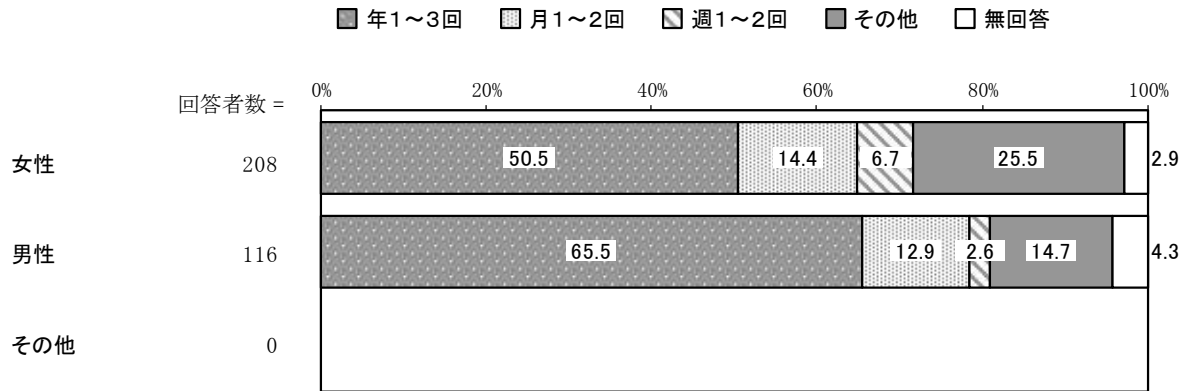
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「年1～3回」の割合が高くなっています。

図表 3-56 「コミュニティ施設」の利用頻度 (年齢別)



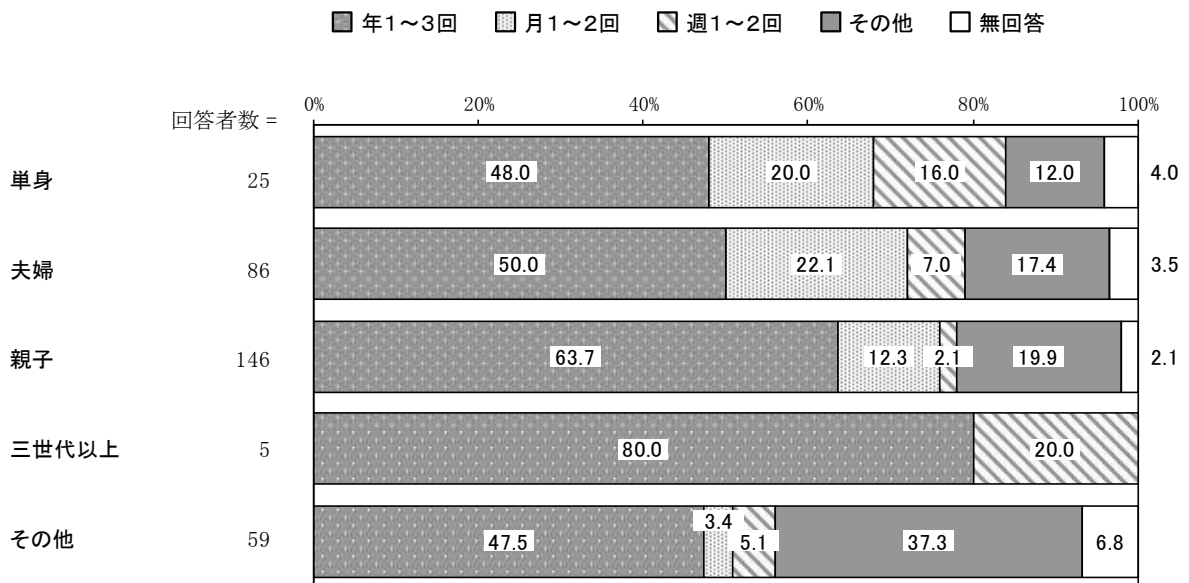
性別でみると、女性に比べ、男性で「年1～3回」の割合が高くなっています。

図表3-57 「コミュニティ施設」の利用頻度（性別）



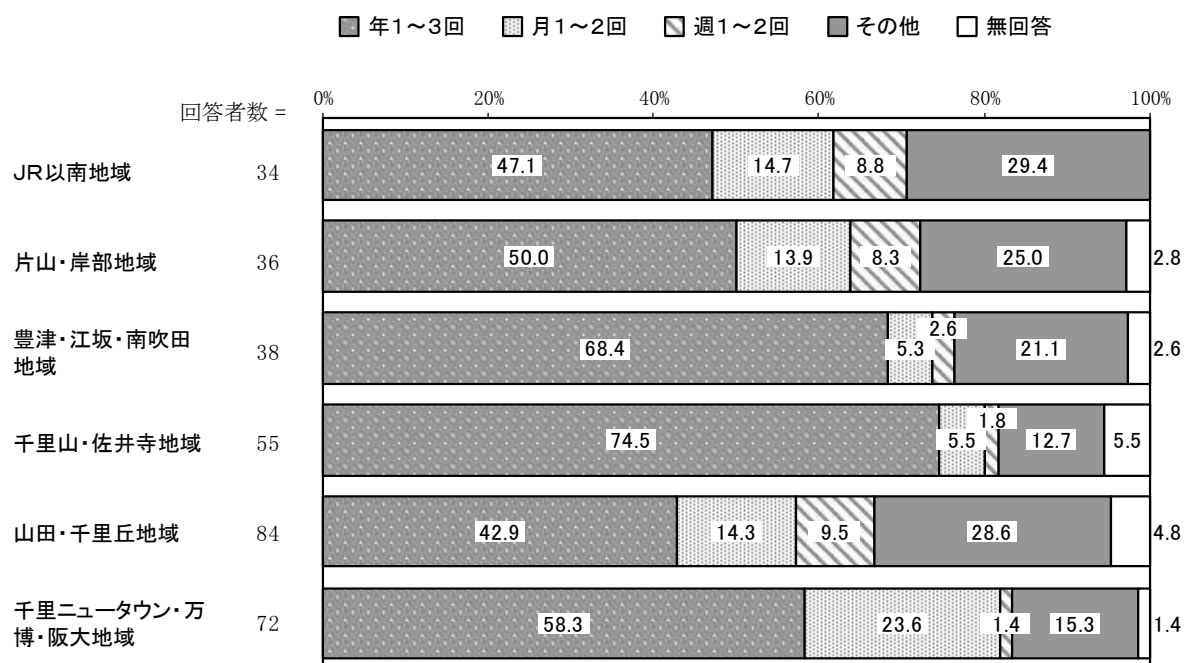
家族構成別でみると、他に比べ、三世代以上で「年1～3回」の割合が高くなっています。

図表3-58 「コミュニティ施設」の利用頻度（家族構成別）



居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「年1～3回」の割合が高くなっています。

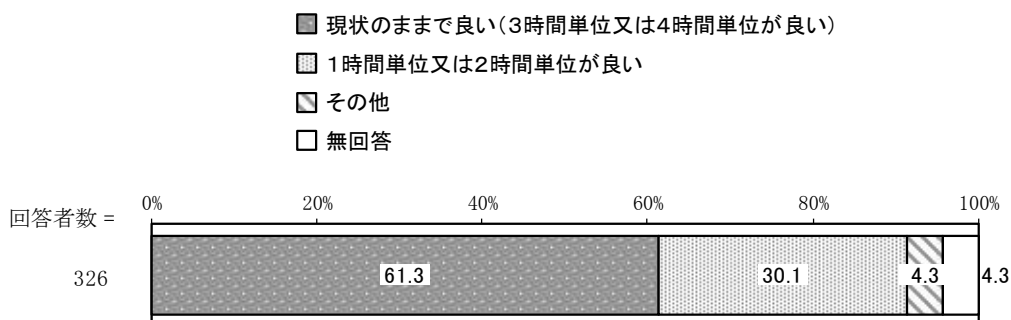
図表3-59 「コミュニティ施設」の利用頻度（居住地域別）



問 34-2 コミュニティ施設では、「午前」、「午後」、「夜間」の使用時間区分を基本とし、3時間単位又は4時間単位で使用の申込みを受け付けています。この使用時間区分を今後、1時間単位又は2時間単位に見直すことについて、あなたの考えに最も近い選択肢を選んでください。(1つだけ○印)

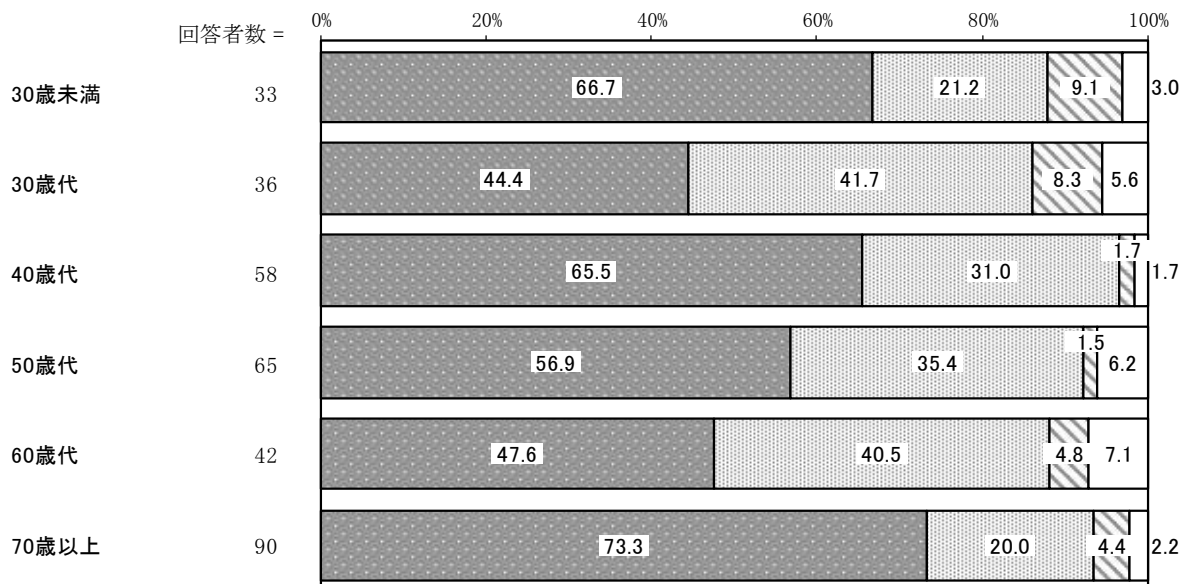
「現状のままで良い(3時間単位又は4時間単位が良い)」の割合が61.3%、「1時間単位又は2時間単位が良い」の割合が30.1%となっています。

図表 3-60 「コミュニティ施設」の使用時間区分(単純回答)



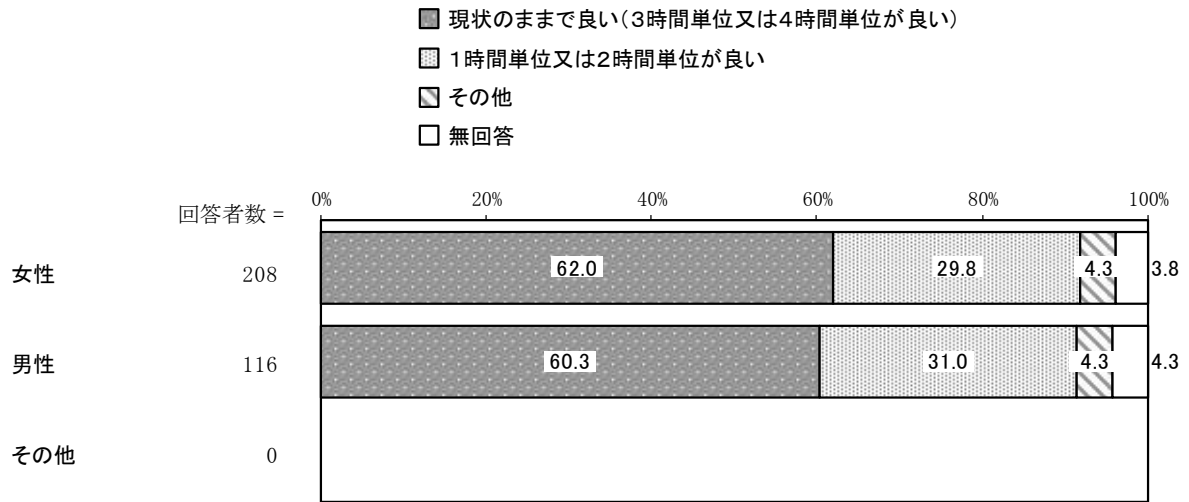
年齢別で見ると、他に比べ、30歳代、60歳代で「1時間単位又は2時間単位が良い」の割合が高くなっています。

図表 3-61 「コミュニティ施設」の使用時間区分(年齢別)



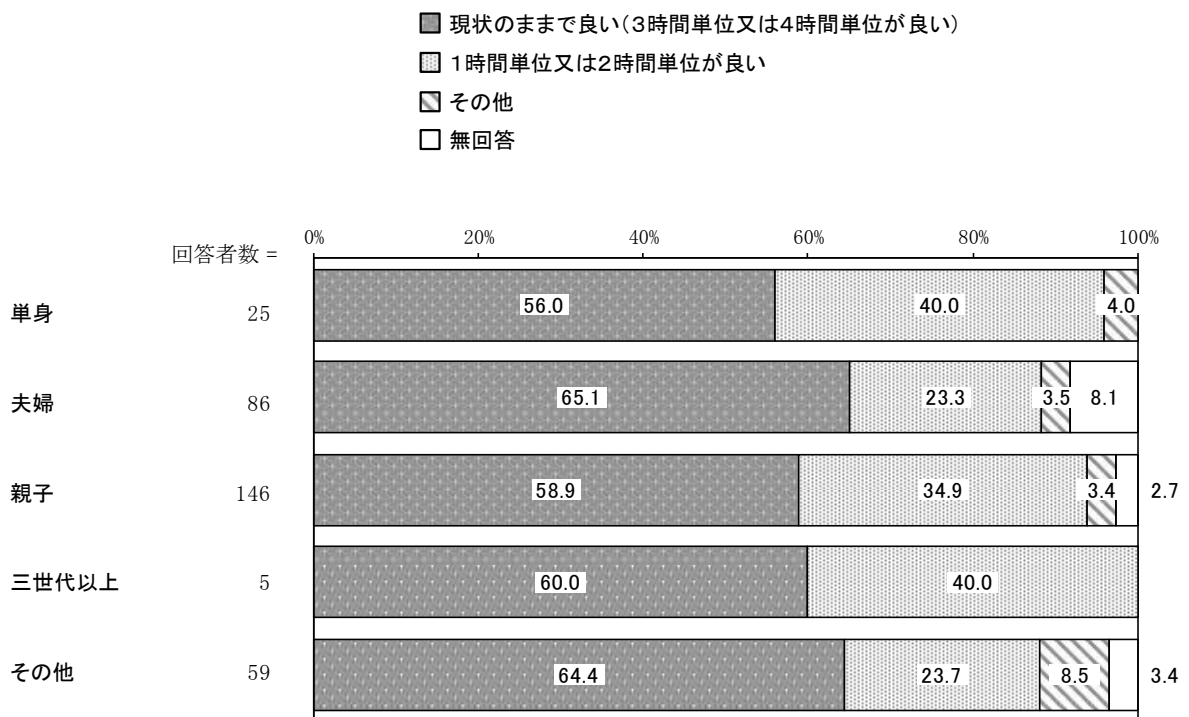
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-62 「コミュニティ施設」の使用時間区分（性別）



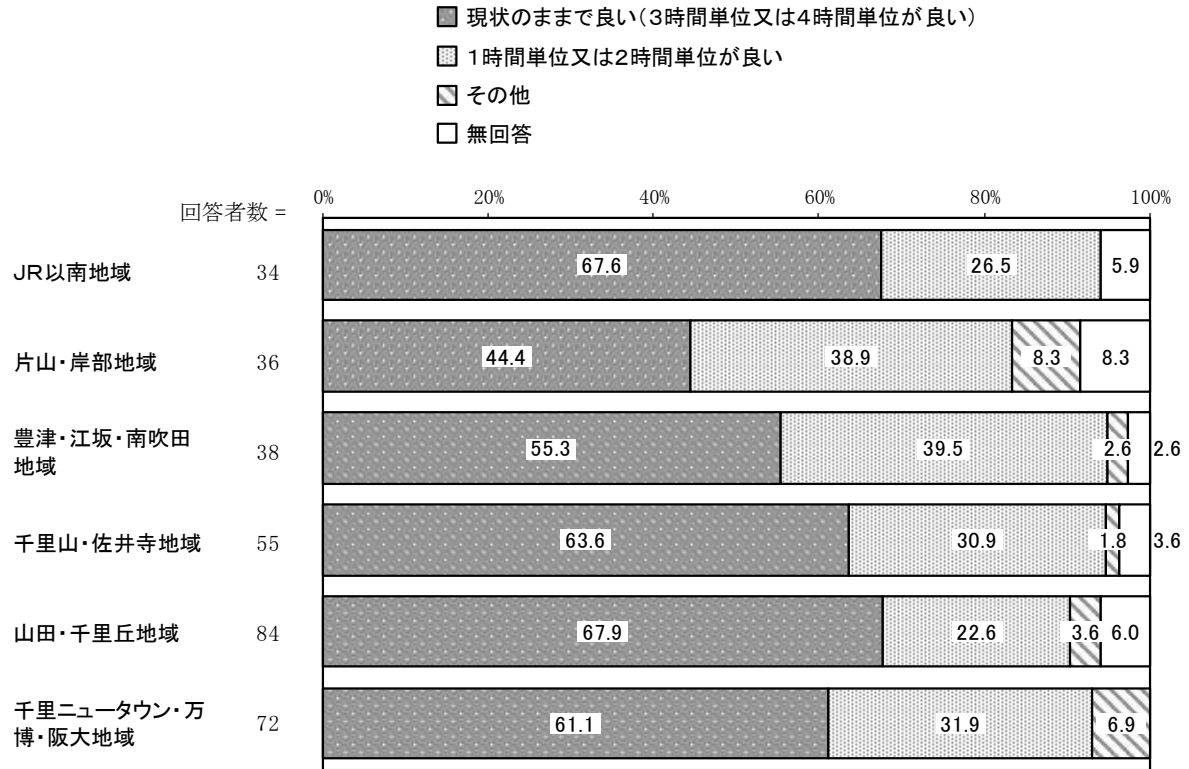
家族構成別でみると、他に比べ、単身、三世代以上で「1時間単位又は2時間単位が良い」の割合が高くなっています。

図表 3-63 「コミュニティ施設」の使用時間区分（家族構成別）



居住地域別で見ると、他に比べ、片山・岸部地域、豊津・江坂・南吹田地域で「1時間単位又は2時間単位が良い」の割合が高くなっています。

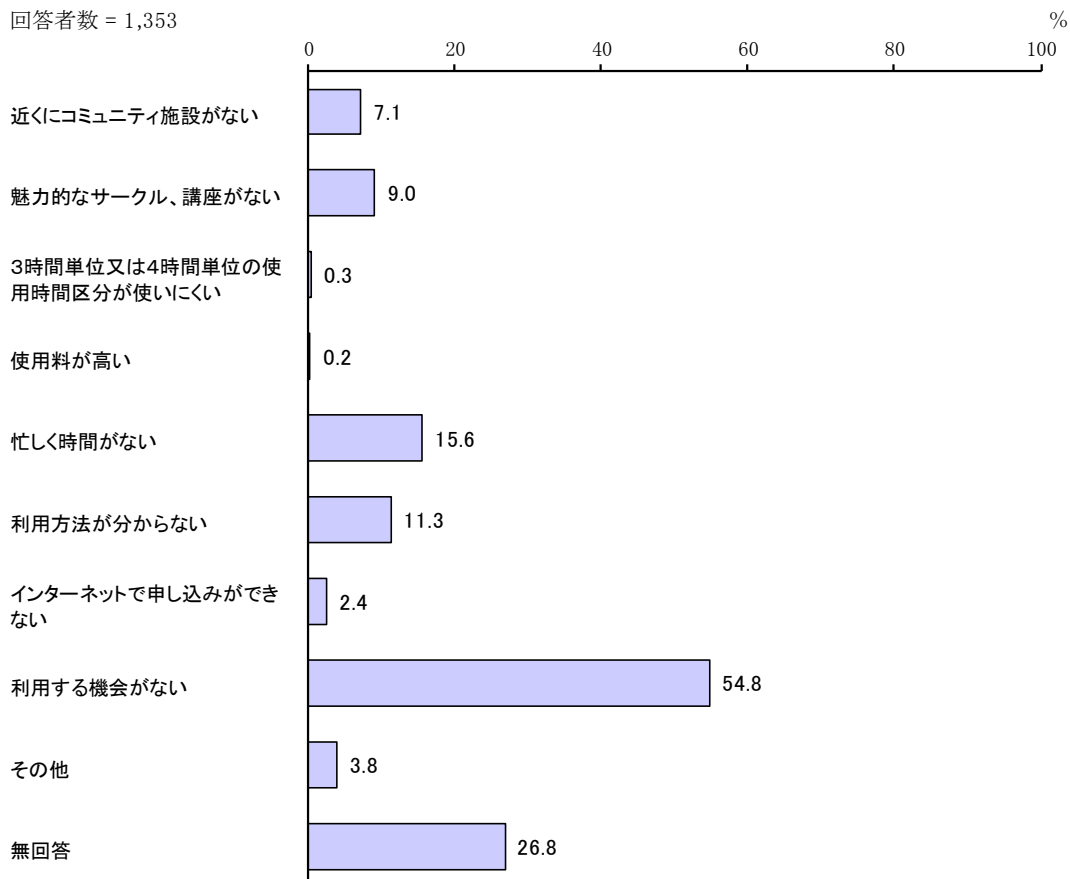
図表3-64 「コミュニティ施設」の使用時間区分（居住地域別）



問 34-3 あなたがコミュニティ施設を利用したことがない理由として当てはまるもの全てに○をつけてください。(いくつでも○印)

「利用する機会がない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「忙しく時間がない」の割合が 15.6%、「利用方法が分からない」の割合が 11.3%となっています。

図表 3-65 「コミュニティ施設」を利用したことがない理由（単純回答）



年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「利用する機会がない」の割合が高くなっています。

図表3-66 「コミュニティ施設」を利用したことがない理由（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	近くにコミュニティ施設がない	魅力的なサークル、講座がない	3時間単位又は4時間単位の使用時間区分が使いにくい	使用料が高い	忙しく時間がない	利用方法が分からない	インターネットで申し込みができない	利用する機会がない	その他	無回答
30歳未満	143	8.4	6.3	0.7	—	15.4	16.8	2.8	54.5	5.6	24.5
30歳代	185	6.5	8.6	—	0.5	18.4	14.6	1.1	65.4	3.8	20.5
40歳代	257	8.2	9.7	0.8	0.4	18.3	12.5	3.9	52.9	3.5	25.7
50歳代	263	6.8	6.8	—	—	20.9	10.3	1.5	53.6	2.3	25.5
60歳代	194	5.7	10.3	0.5	—	18.0	9.3	3.1	59.8	3.1	24.7
70歳以上	305	7.2	10.8	—	0.3	4.9	8.2	2.0	48.5	5.2	35.1

性別でみると、女性に比べ、男性で「利用する機会がない」の割合が高くなっています。

図表3-67 「コミュニティ施設」を利用したことがない理由（性別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	近くにコミュニティ施設がない	魅力的なサークル、講座がない	3時間単位又は4時間単位の使用時間区分が使いにくい	使用料が高い	忙しく時間がない	利用方法が分からない	インターネットで申し込みができない	利用する機会がない	その他	無回答
女性	753	8.5	9.6	0.3	0.1	14.2	10.9	2.5	51.0	3.6	30.4
男性	595	5.4	8.4	0.3	0.3	17.3	11.9	2.2	59.7	4.2	22.2
その他	2	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—

家族構成別でみると、単身で「利用する機会がない」の割合が最も高くなっています。

図表 3-68 「コミュニティ施設」を利用したことがない理由（家族構成別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	近くにコミュニティ施設がない	魅力的なサークル、講座がない	3時間単位又は4時間単位の使用時間区分が使いにくい	使用料が高い	忙しく時間がない	利用方法が分からない	インターネットで申し込みができない	利用する機会がない	その他	無回答
単身	177	7.9	4.5	—	—	16.9	16.9	2.3	59.9	4.5	19.8
夫婦	346	6.4	11.3	0.3	0.3	10.7	8.7	1.7	55.5	4.0	27.2
親子	566	7.6	9.7	0.4	0.2	18.9	10.1	2.7	53.2	3.2	27.9
三世代以上	20	5.0	5.0	—	—	20.0	5.0	—	55.0	—	25.0
その他	217	6.5	8.3	0.5	0.5	12.9	13.8	2.8	55.3	4.1	29.5

居住地域別でみると、千里ニュータウン・万博・阪大地域以外の地域で「利用する機会がない」の割合が高くなっています。

図表 3-69 「コミュニティ施設」を利用したことがない理由（居住地域別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	近くにコミュニティ施設がない	魅力的なサークル、講座がない	3時間単位又は4時間単位の使用時間区分が使いにくい	使用料が高い	忙しく時間がない	利用方法が分からない	インターネットで申し込みができない	利用する機会がない	その他	無回答
JR以南地域	110	5.5	6.4	0.9	—	12.7	12.7	2.7	52.7	1.8	30.9
片山・岸部地域	185	9.7	10.3	—	0.5	18.4	8.6	1.6	58.9	4.3	23.2
豊津・江坂・南吹田地域	227	12.3	5.3	—	—	15.4	16.7	3.5	61.7	3.1	20.7
千里山・佐井寺地域	242	8.3	9.9	0.8	—	17.8	8.7	0.8	56.2	3.7	24.4
山田・千里丘地域	304	4.6	11.2	0.3	0.7	14.5	10.2	1.6	53.6	4.3	30.3
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	3.7	7.8	—	—	14.0	10.3	3.3	47.7	4.9	31.3